TOSHIBA
Leading Innovation >>>

高圧一括受電契約用

東芝ヒートポンプ給湯機

取扱説明書
（家庭用）

システム形名

（ユニット形名との対照表は、本書41ページをご覧ください）
※リモコンは全機種別売です。

フルオートタイプ

一括受電向け
HWH-B374J
HWH-B374J-Z
HWH-B374J-GZ

自然冷媒CO_2ヒートポンプ給湯機
東芝エコキュート

日本国内専用品
Use only in Japan

●このたびは東芝ヒートポンプ給湯機をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございました。
●この商品を安全に正しく使用していただくために、お使いになる前にこの取扱説明書をお読みいただき、いつでも見られるところに必ず保管してください。
●保証書、工事説明書（据付作業確認書）、使いかたガイドを販売店または工事店から必ず受けとって保存してください。
●ボタンリモコンの使いかたは、リモコンに同梱されている使いかたガイドをご確認ください。

エコキュートで省エネ&快適生活

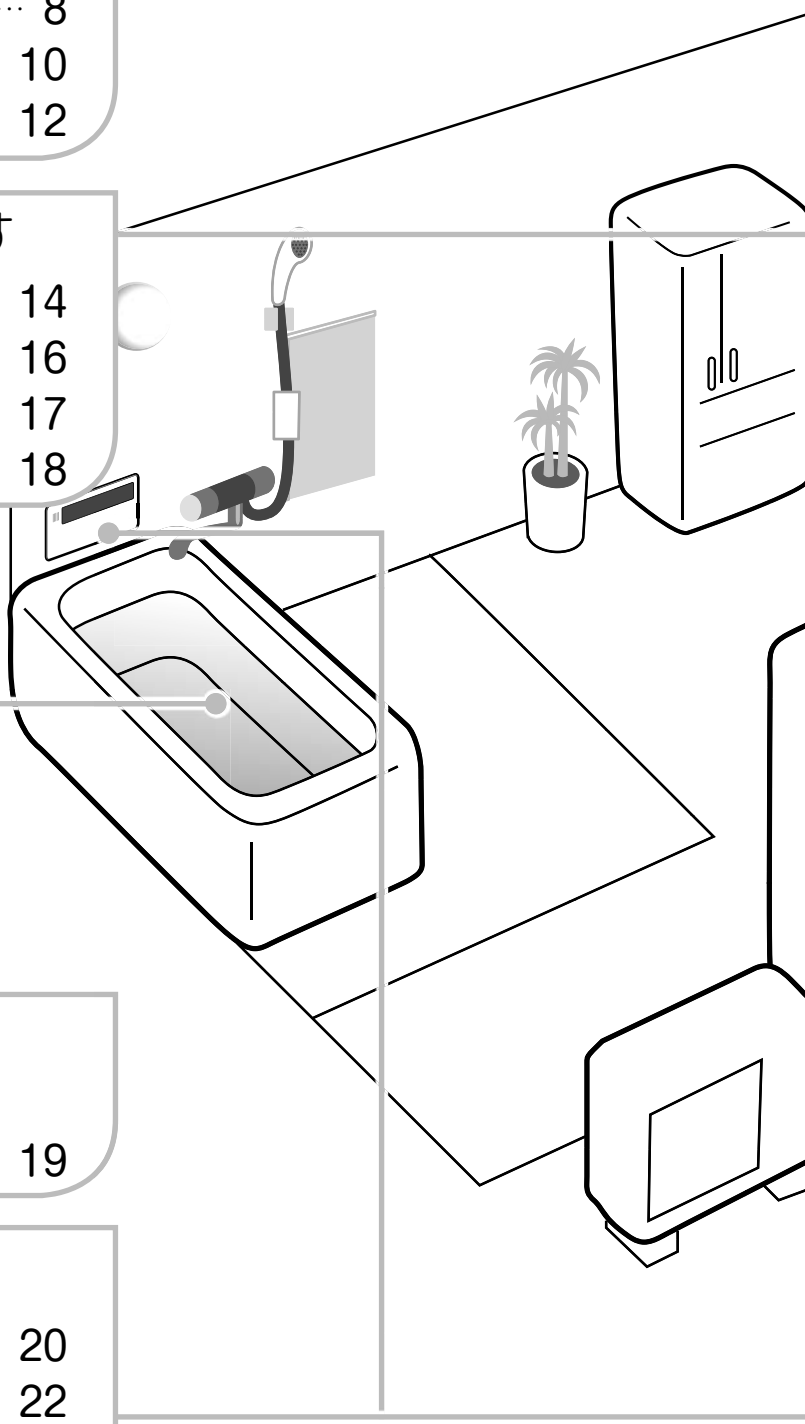
安全上のご注意 …… 4
エコキュートの仕組みと特長 …… 6

各部の名前とはたらき

貯湯ユニット/ヒートポンプユニット …… 8
台所リモコン（HWH-RM94F） …… 10
浴室リモコン（HWH-RB94F） …… 12

貯湯ユニットのお湯を沸かす

お湯の貯めかた（沸き上げ） …… 14
昼間の自動補充運転（自動沸き増し）…… 16
数日間お湯を使わないとき …… 17
沸き上がりの時間を早める …… 18



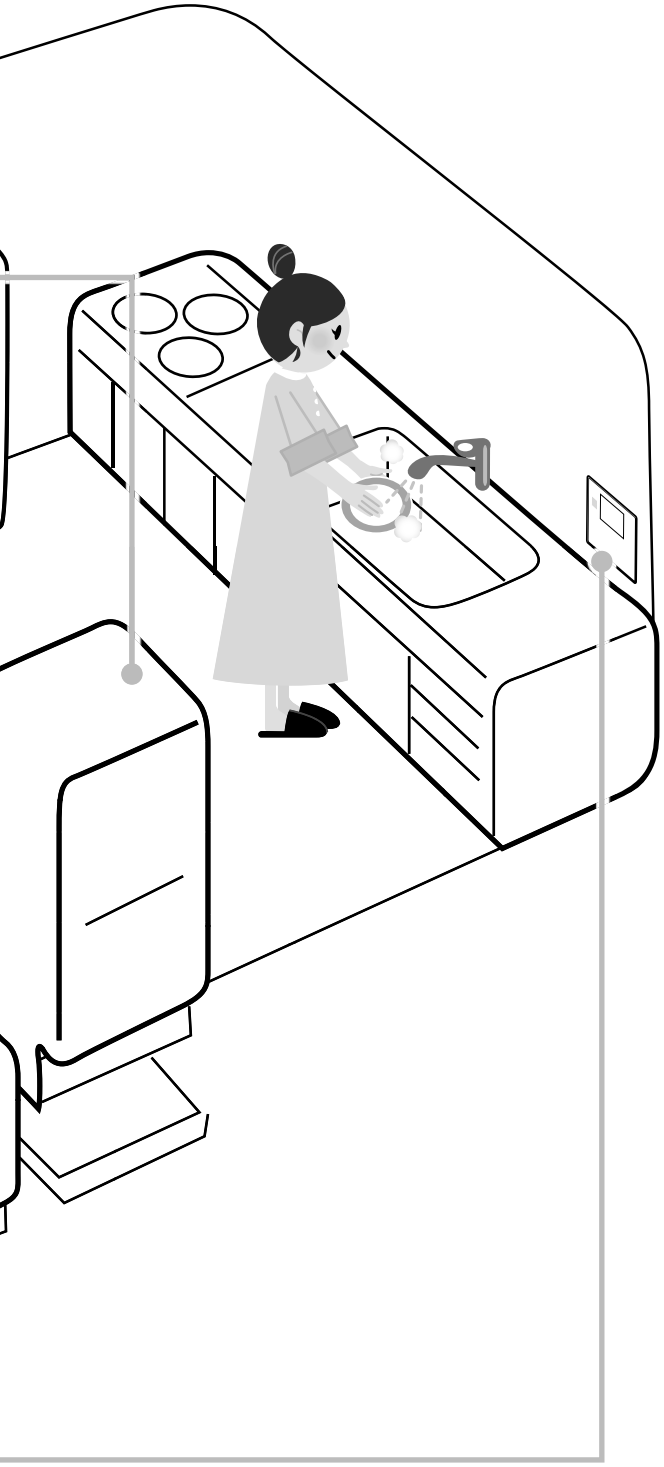
お風呂でできること

湯かげんを自動で
調節する（保温・たし湯） …… 19

リモコンのいろんな機能

リモコンの機能 …… 20
連絡先電話番号を登録する …… 22
設定を初期化する …… 23

本書「取扱説明書」では、エコキュートの詳しい使いかたを説明しています。
基本的な操作を知りたいときは別冊「使いかたガイド」を参照してください。



お手入れ

浴槽のお手入れ…… 24
浴槽循環金具／リモコンのお手入れ …… 25
貯湯ユニットへの水の貯めかた …… 26
貯湯ユニットのお手入れ …… 28
点検する…… 29

こんなときには

冬が来る前に（凍結を防止する） …… 30
停電のとき…… 32
断水や水道工事のとき…… 33
非常時にタンクの水を取り出すとき …… 34
配管の水やポンプのエアを抜くとき …… 35
長期間使わないとき
（タンクの排水・配管の水抜き） …… 36
家族構成が変わったとき …… 38
電力契約を変えたとき …… 39
給湯や湯はりを制限したいとき …… 40

製品仕様…… 41

お問い合わせの前に

よくあるお問い合わせ …… 42
お知らせコードが表示されたとき …… 49

5年保証に関する免責事項 …… 55

安全上のご注意　必ずお守りください

- お使いになる人や他の人への危害、財産の損害を防ぐために、お守りいただくことを説明しています。
- 設置にかかわる注意事項は、工事説明書に記載しておりますので、そちらも合わせてご確認ください。
- 記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。

表示の説明	誤った取り扱いをしたときに生じる危害や損害の程度を区分して説明しています。

⚠ 警告	「死亡または重傷を負う可能性がある内容」を示します。	⚠ 注意	「軽傷を負うことや、家屋・家財などの損害が発生する可能性がある内容」を示します。

図記号の説明	守っていただかなければならない内容を、図記号で示しています。

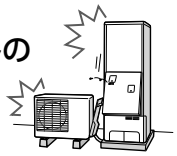
⃠	禁止（してはいけないこと）を示します。具体的な禁止内容は図記号の中や近くに絵や文章で指示します。	●	指示する行為の強制（必ずすること）を示します。具体的な注意内容は、図記号の中や絵や文章で指示します。

⚠ 警告

分解禁止

分解・修理・改造・移設しない
- 不備があると火災・感電・水漏れの原因になります。（修理は販売店または工事店にご依頼ください）

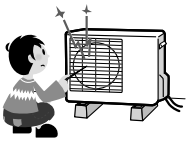
ヒートポンプユニットのバルブカバーや貯湯ユニットの前面カバーは開けない
- ショート・感電の原因になります。



禁　止

機器の近くにガス類の容器や引火物を置かない
- 発火の原因になります。

ヒートポンプユニットの吹出口や吸込口に指や棒などを入れない
- 内部でファンが回転していることがあるため、けがの原因になります。



浴槽循環金具のフィルターがゆるんでいたりはずしたままで使わない
- 髪の毛などが吸い込まれ事故や故障の原因になります。

接触禁止

ヒートポンプ配管や接続口には触れない
- やけどの原因になります。

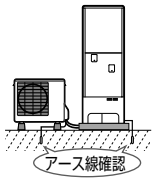
逃し弁点検時には、逃し弁レバー以外に触れない
- やけどの原因になります。

貯湯ユニットの排水時は熱湯が出ることがあるので、お湯に触らない
- やけどの原因になります。

給湯時は蛇口に触れない
- やけどの原因になります。

アースを接続する

アース工事がされていることを確認する
- 故障や漏電のときに感電の原因になります。（販売店または工事店にご確認ください。）

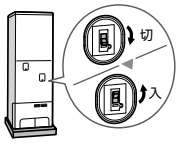


ぬれ手禁止

漏電しゃ断器はぬれた手で操作しない
- 感電の原因になります。

指　示

漏電しゃ断器の動作を定期的に確認する（年に2～3回）
- 故障のまま使用すると、感電や火災の原因になります。



お湯の使い始めはしばらくお湯に触れない
- 空気の混じった熱いお湯が飛び散り、やけどの原因になります。特に朝の使い始めはご注意ください。

追いだき・自動保温・たし湯時のポンプ循環中は浴槽循環金具から離れる
- 熱いお湯が出てやけどをすることがあります。

浴槽循環金具付近で潜らない
- 髪の毛が吸い込まれるなど思わぬ事故の原因になります。特に子供の入浴に注意してください。

お湯を使うときはお湯の温度を確認する
- 入浴時やシャワー使用時は、指先などで湯温を確認しないとやけどの原因になります。

給湯温度を変更するときは、他でお湯を使っていないことを確認する
- やけどの原因になります。

お湯を出し始めるときは必ず水を出しながらお湯を出す
- お湯だけ出すと、高温のお湯でやけどをする原因になります。

⚠ 警告

指　示

異常・故障時は、すぐに使用を中止する

- 異常のまま使用すると火災・感電・やけどの原因になります。
- 漏電しゃ断器を「切」にして、お買い上げの販売店(工事店)または、東芝電気給湯機ご相談センターへご連絡ください。

《異常・故障時の例》

- 漏電しゃ断器が自動的に「切」になる。
- お湯の出が悪かったり、早くなくなる。
- 排水口から常にお湯が流れている。
- 設置場所が常にぬれている。
- 焦げくさいにおいや異常な音・振動がする。

⚠ 注意

禁　止

機器の上に乗ったり、物を載せたり、配管に力を加えない

- 落下・転倒などにより、けがの原因になることがあります。

そのまま飲用しない

- 長期間の使用によりタンク内に水あかがたまったり、配管材料の劣化などによって水質が変わったりすることがあります。
  飲用される場合は以下の点に注意し、必ず、一度沸とうさせてください。
  - 必ず水質基準に適合した水を使う。
  - 熱いお湯が出てくるまでの水(配管内にたまっていた水)は、雑用水として使用する。
- 固形物や変色、にごり、異臭があった場合は、飲用には使用せず、すぐに点検を依頼する。

貯湯ユニットの水抜き時は熱湯を直接排水しない

- やけどや排水管破損の原因になります。
- 混合水栓のお湯側からお湯を使いきってから排水してください。

高圧洗浄機などで水洗いはしない

- 漏電による火災や感電の原因になります。

ヒートポンプユニットの据付台は傷んだ状態で使わない

- ヒートポンプユニットの落下、転倒やけがの原因になります。

凍結のおそれがあるときは電源を切らない

- 凍結した配管などが破損し水漏れの原因になります。電源を切る場合は機器の水抜きをしてください。

接触禁止

ヒートポンプユニットのアルミフィンには触れない

- けがの原因になります。

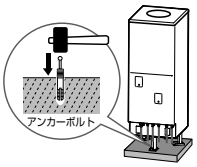
指　示

据え付け後は、次のことを確認する
※販売店(工事店)にご確認ください。

●設置床面が防水処理・排水処理がされていること

- 水漏れが起きたとき大きな被害につながる原因になります。

●貯湯ユニットの脚が、アンカーボルトで固定されていること(2階以上に据え付ける場合は、上部を別売部品の耐震強化金具で固定されていること。)

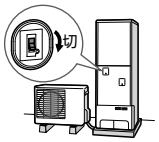


- 地震などにより転倒してけがをすることがあります。

●凍結防止対策(配管の保温工事、不凍結水栓、凍結防止ヒーターなど)がされていること

- 正しく工事されていないと、配管が破損して水漏れやけがの原因になることがあります。

お手入れ時・点検時は、漏電しゃ断器を「切」にする

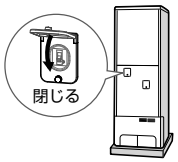


- ヒートポンプユニットのファンが回転している場合があり、けがの原因になることがあります。

逃し弁が作動することを定期的に確認する

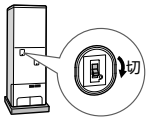
- 正しく作動しないと、水漏れの原因になることがあります。

点検・操作の後は、貯湯ユニットの電源扉と逃し弁扉は閉じ、ねじを締める



- 雨やごみが入ると漏電による火災や感電の原因になることがあります。

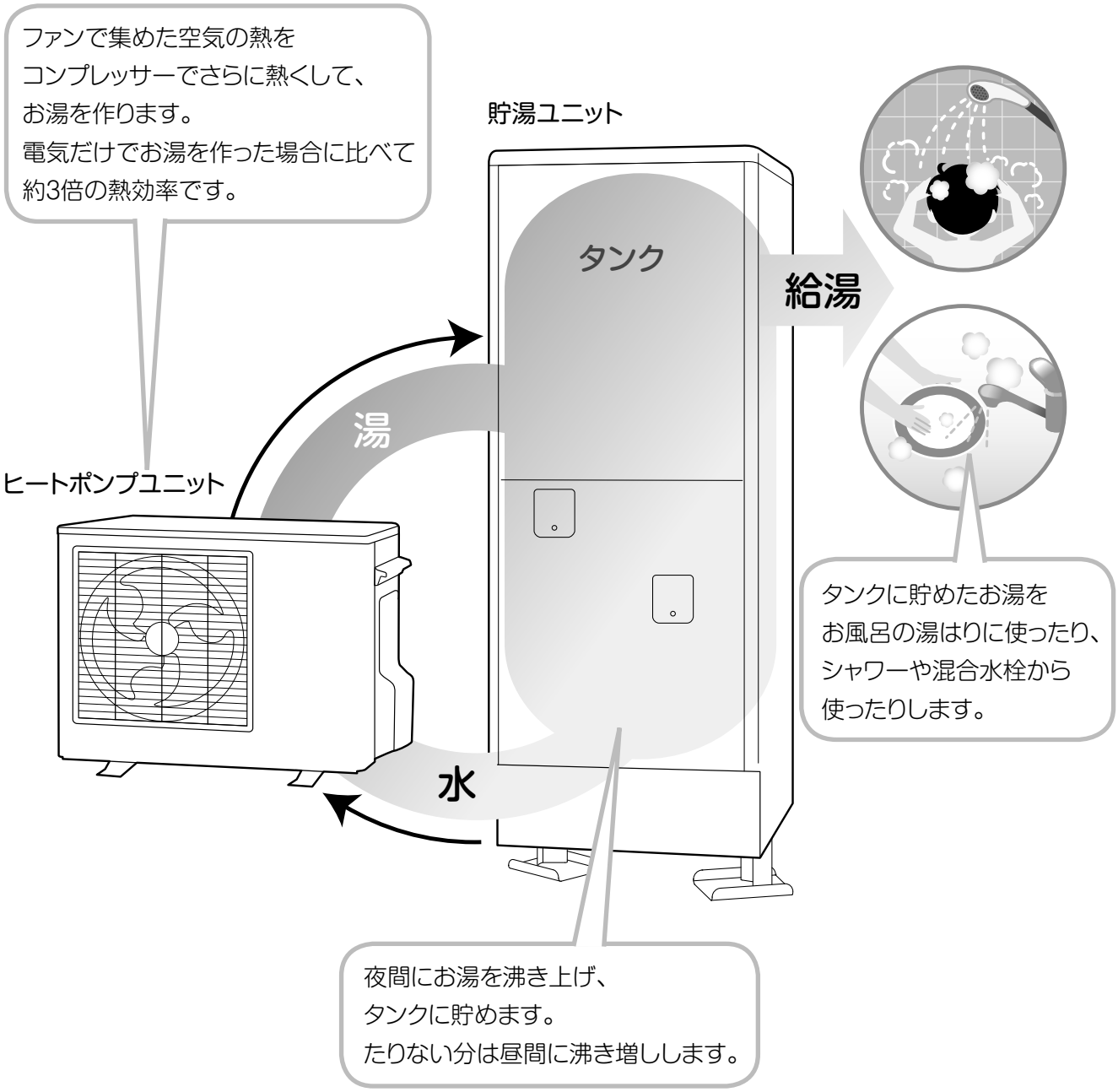
1ヵ月以上使わないときは、漏電しゃ断器を「切」にして、タンクの排水(水抜き)をする



- 水質が変化し、飲用すると健康を害するおそれがあります。

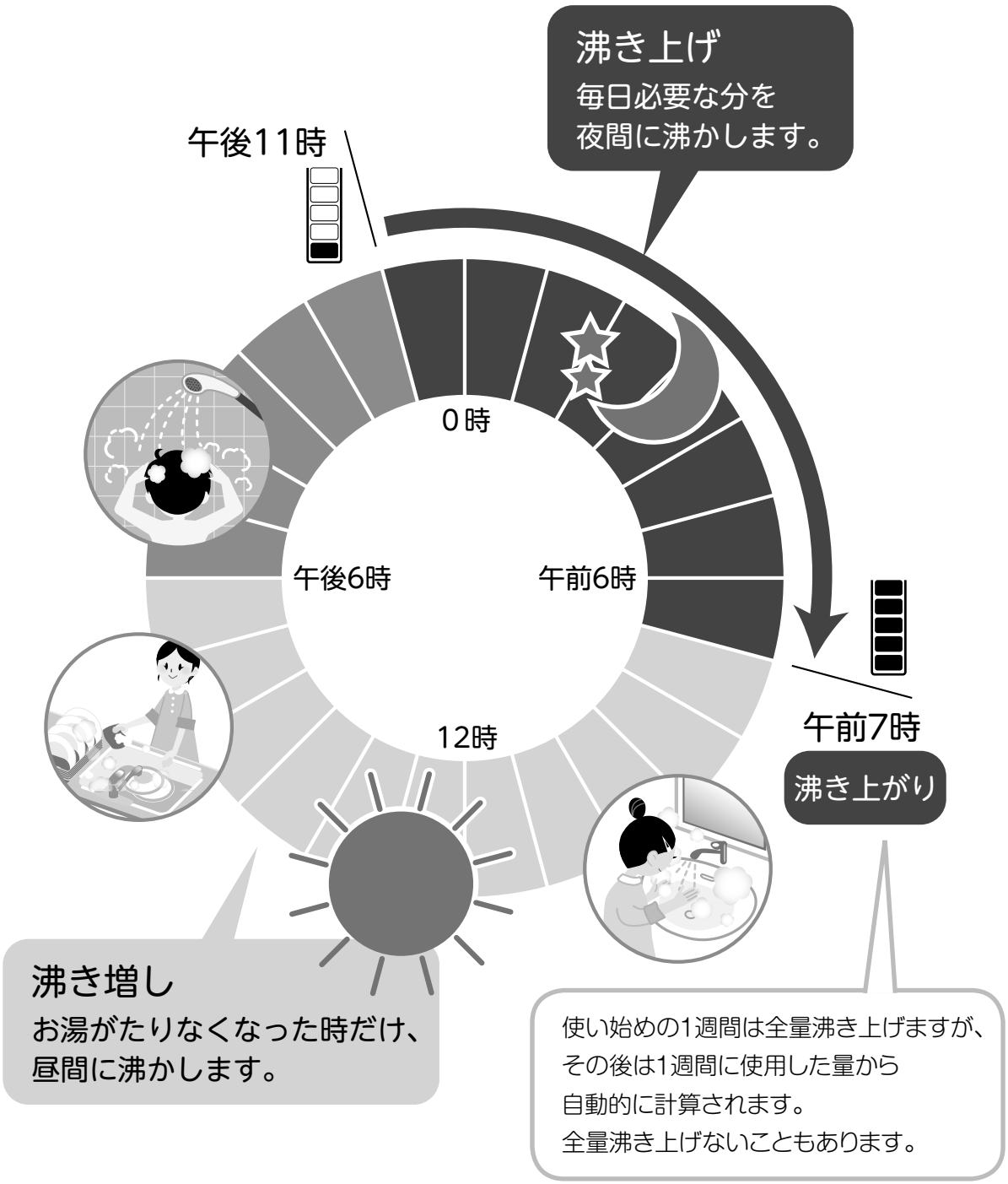
エコキュートの仕組みと特長

省エネPOINT 1 空気の熱でお湯を作ります



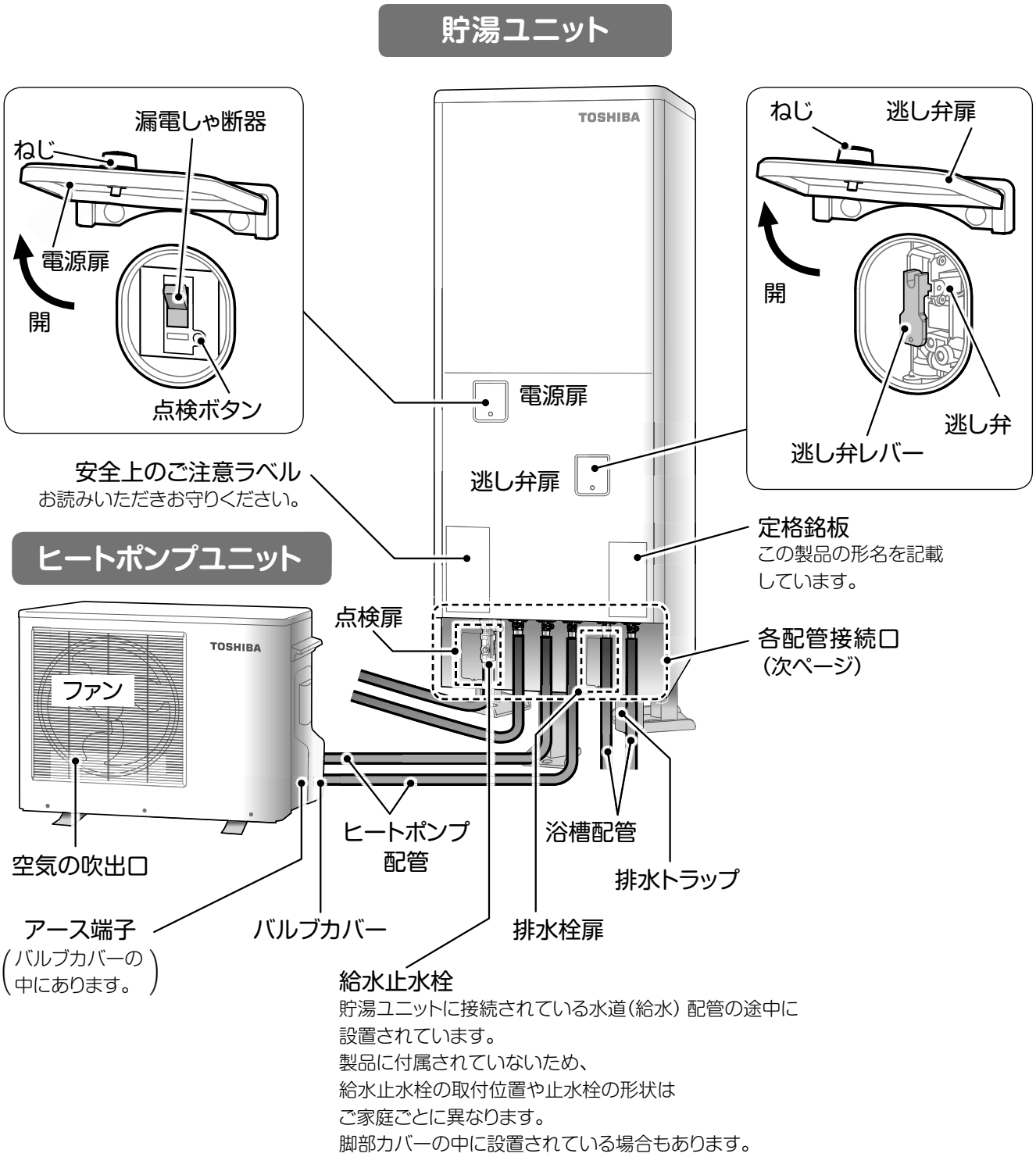
エコキュートは、空気中の熱と電気を利用してお湯を沸かします。
空気中の熱を使うことで省エネにつながるだけでなく、主に夜間電力で
お湯を沸かして貯めておくため、給湯にかかるコストも削減できます。

省エネPOINT 2 電気代の安い夜間に沸かします

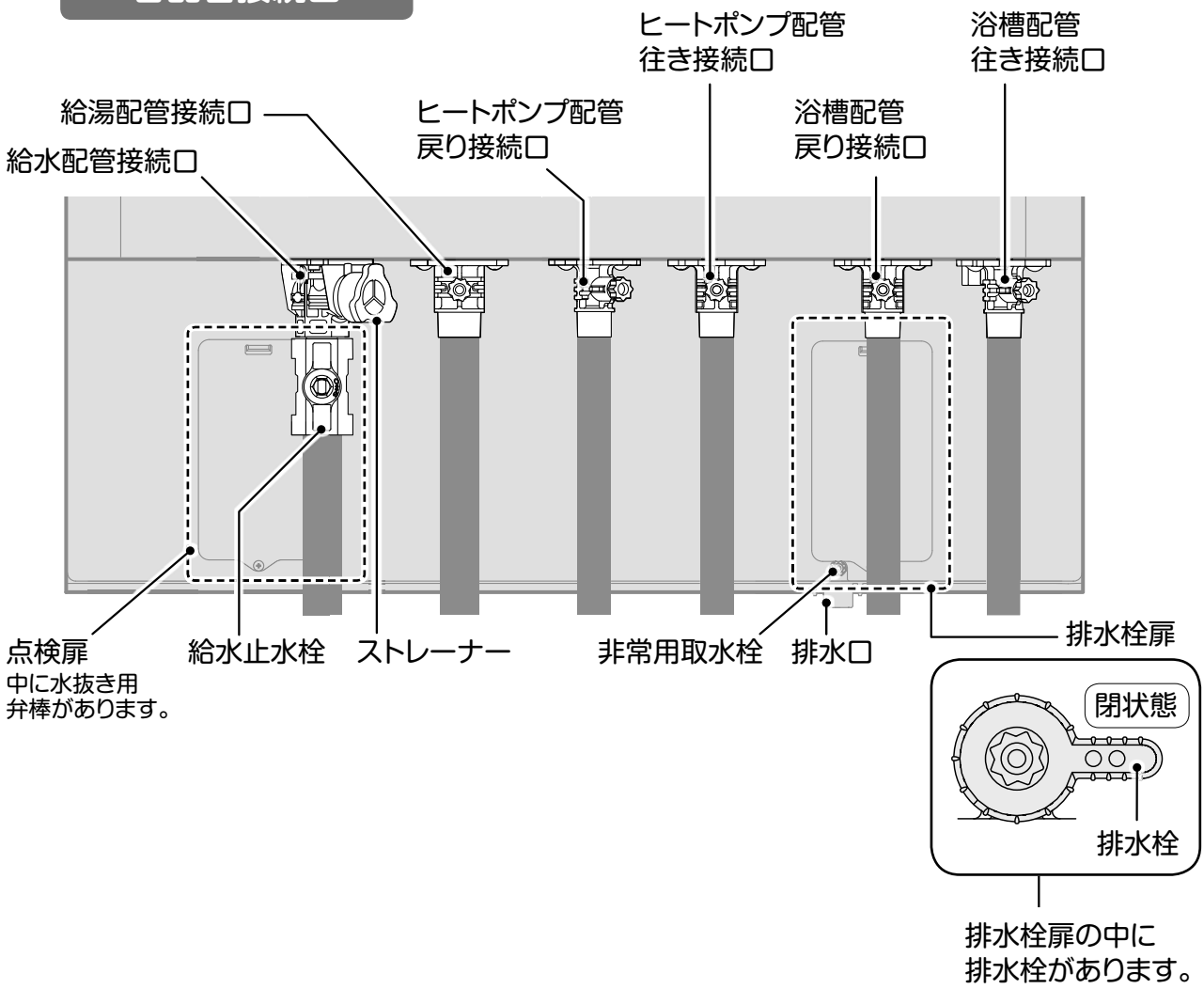


貯湯ユニット/ヒートポンプユニット

説明のため、現場施工部品を組み込んだイラストになっています。



各配管接続口

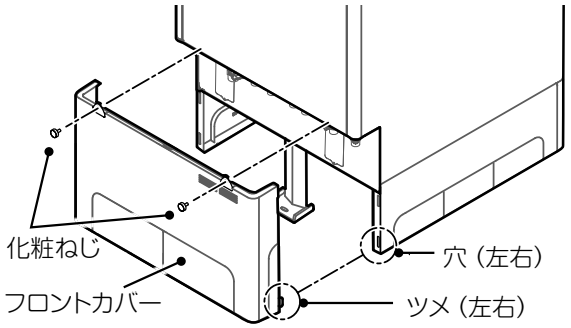


脚部カバー（別売部品）を取り付けている場合

お手入れや点検・水抜き作業などは脚部カバーのフロントカバーを取りはずしてから行ってください。

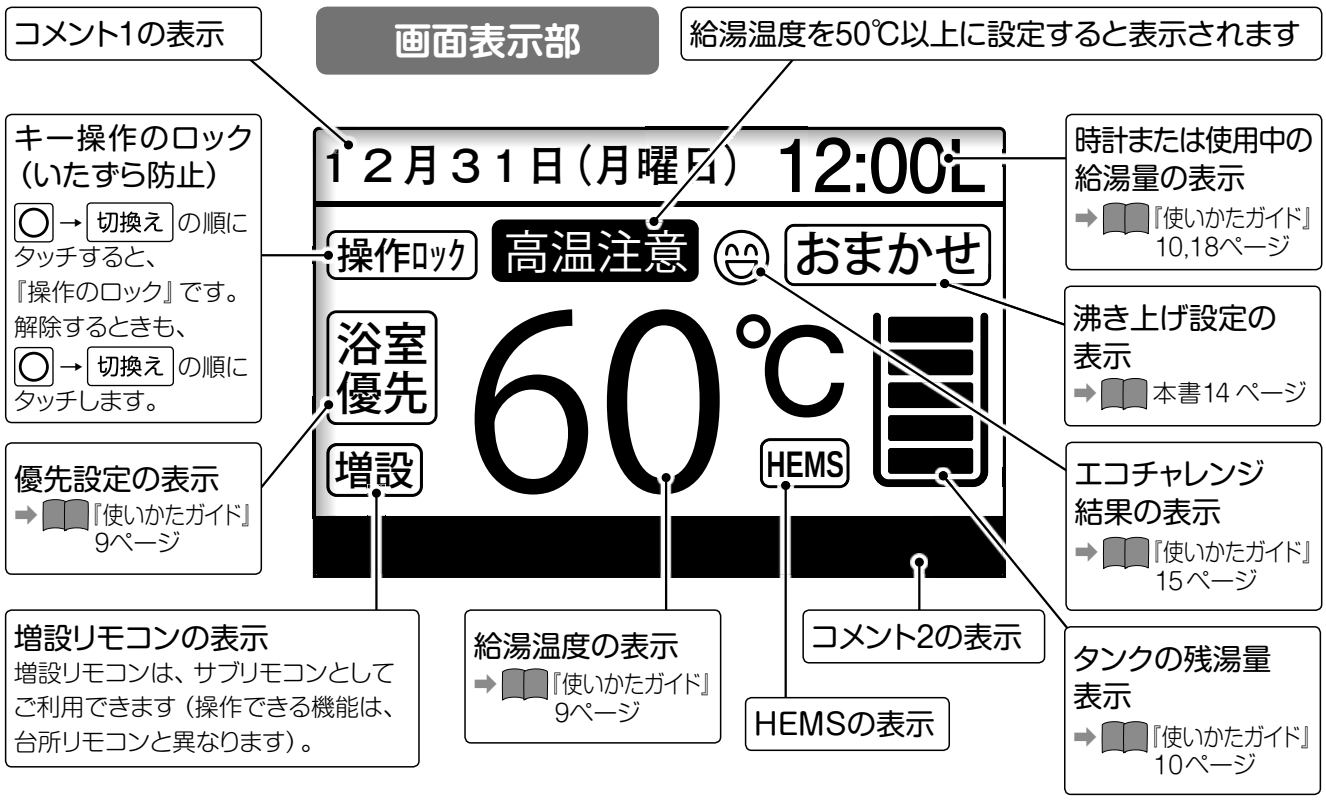
取りはずしかた
化粧ねじ2本をはずし、フロントカバーを手前に引く。

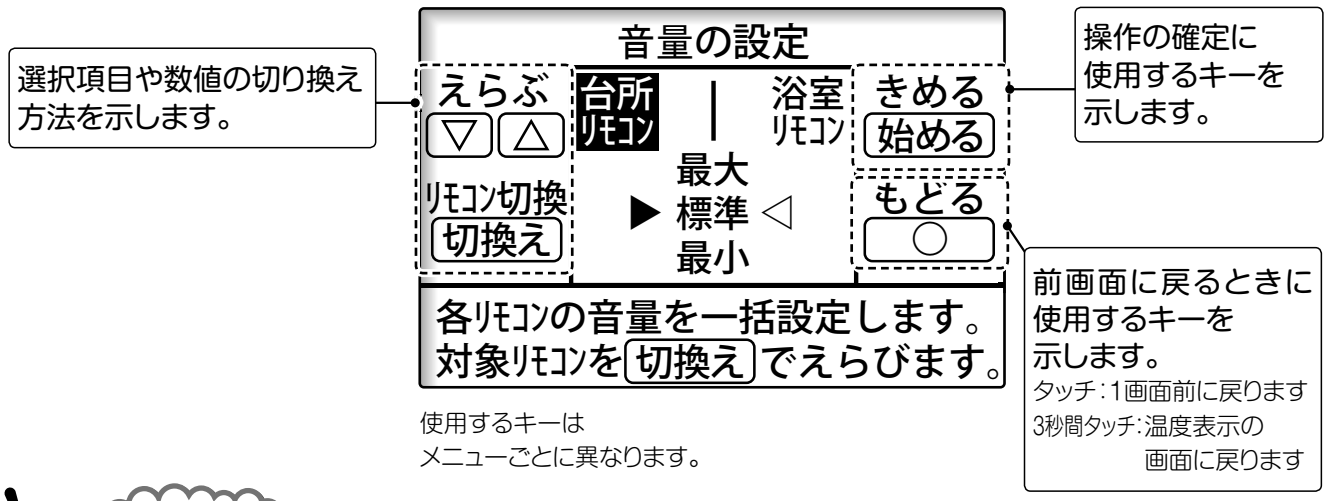
取り付けかた
左右の穴（各1ヵ所）にフロントカバーのツメを合わせ、化粧ねじ2本にて固定する。



台所リモコン（HWH-RM94F）

表示内容は、説明のために画面表示とキー表示を全点灯状態で表示してあります。
本文中のイラストは表示例であり、実際と異なることがあります。



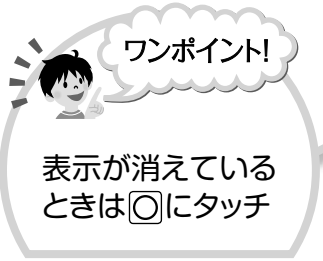


コメント1/コメント2が表示されたとき

機器の状態や設定の内容などを表示してます。
状況に合わせ、ご確認ください。

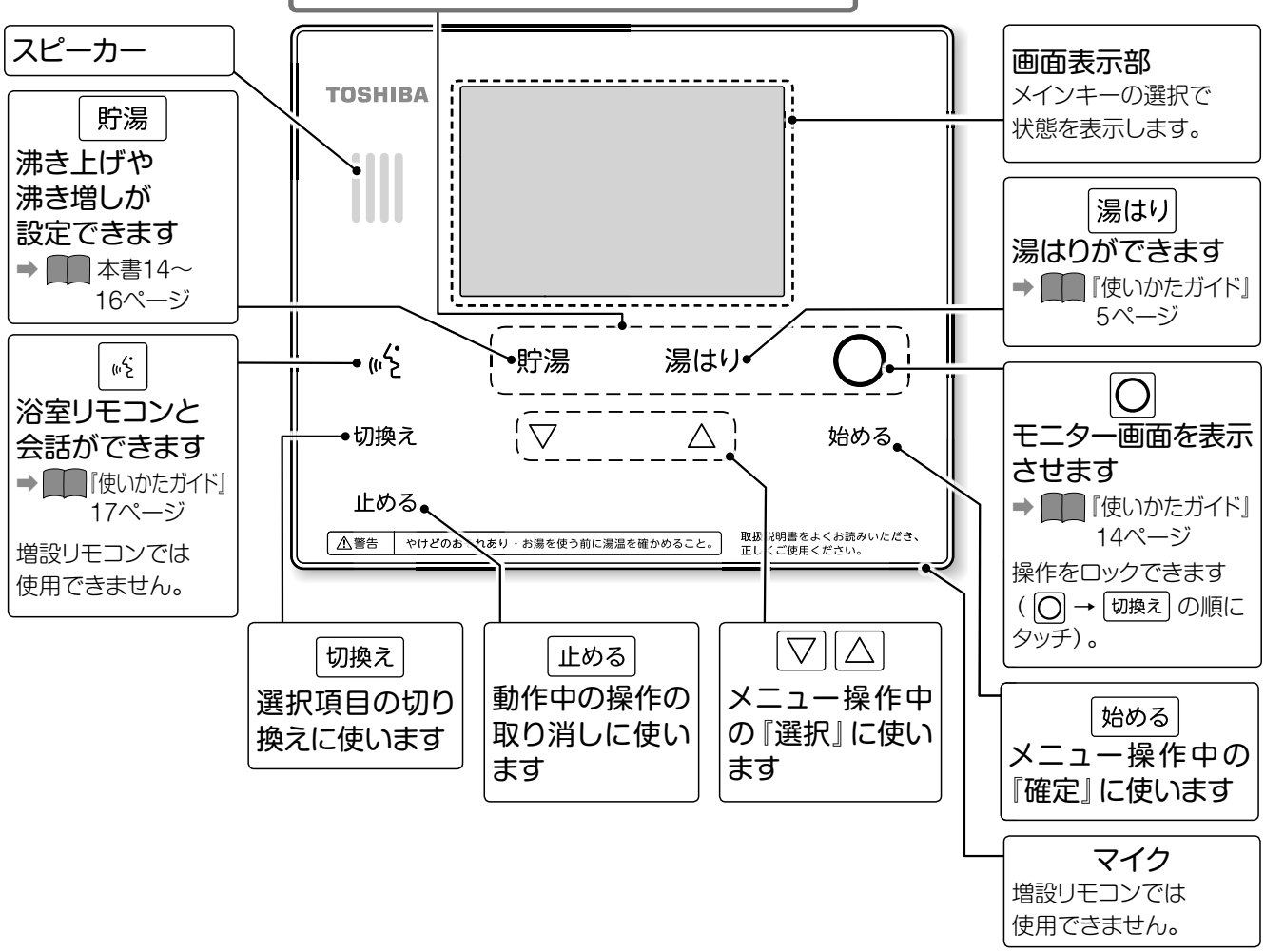
水の近くで使うとき

台所リモコンに防水機能はありませんので、水や蒸気をかけたり、ぬれた手で操作しないでください。



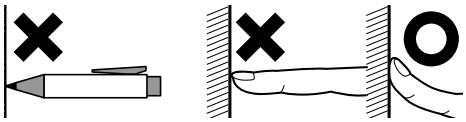
キー操作部

これら3つのボタンはタッチの長さによって機能が異なります。(タッチまたは3秒タッチ)



リモコンはボタン式ではなくタッチ式です。

文字部分を触ると操作できます。
(画面表示部にタッチしても操作できません。)



キーが点灯しないとき

- リモコンは、操作できるキーだけが点灯します。
- 一定時間操作がないとキーとバックライトが消灯します。(初期設定:1分)
  消灯時間は、【表示の設定】メニューで変更できます。
  ➡ 本書20～21 ページ

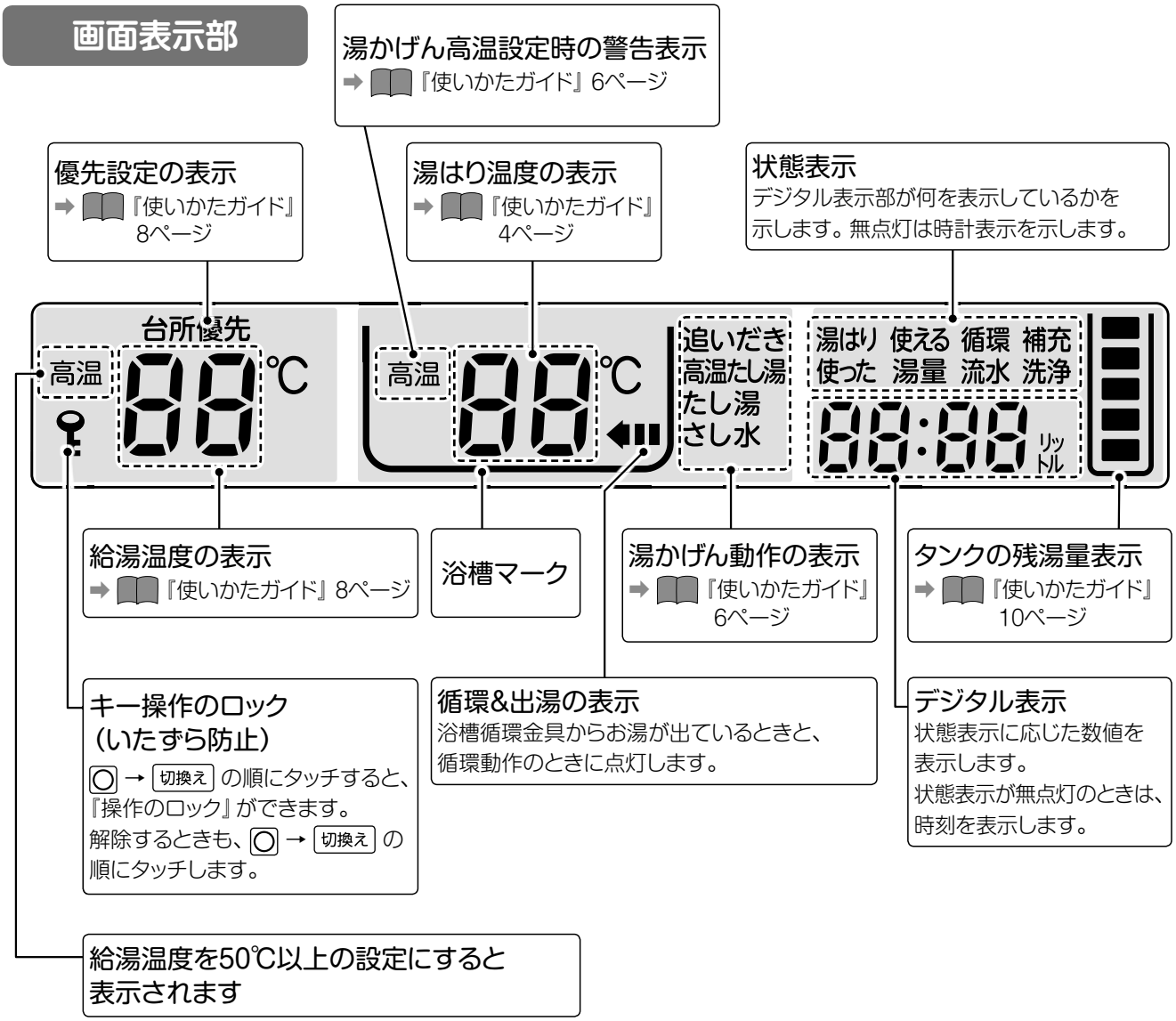
増設リモコンでは…

- 浴室リモコンとの会話はできません。
- 増設リモコンは【給湯温度】と【日時の設定】が変更できます。
  その他の設定は台所リモコンで設定してください。

浴室リモコン（HWH-RB94F）

表示内容は、説明のために画面表示とキー表示を全点灯状態で表示してあります。

画面表示部



浴室リモコンに【台所優先】が表示されていると

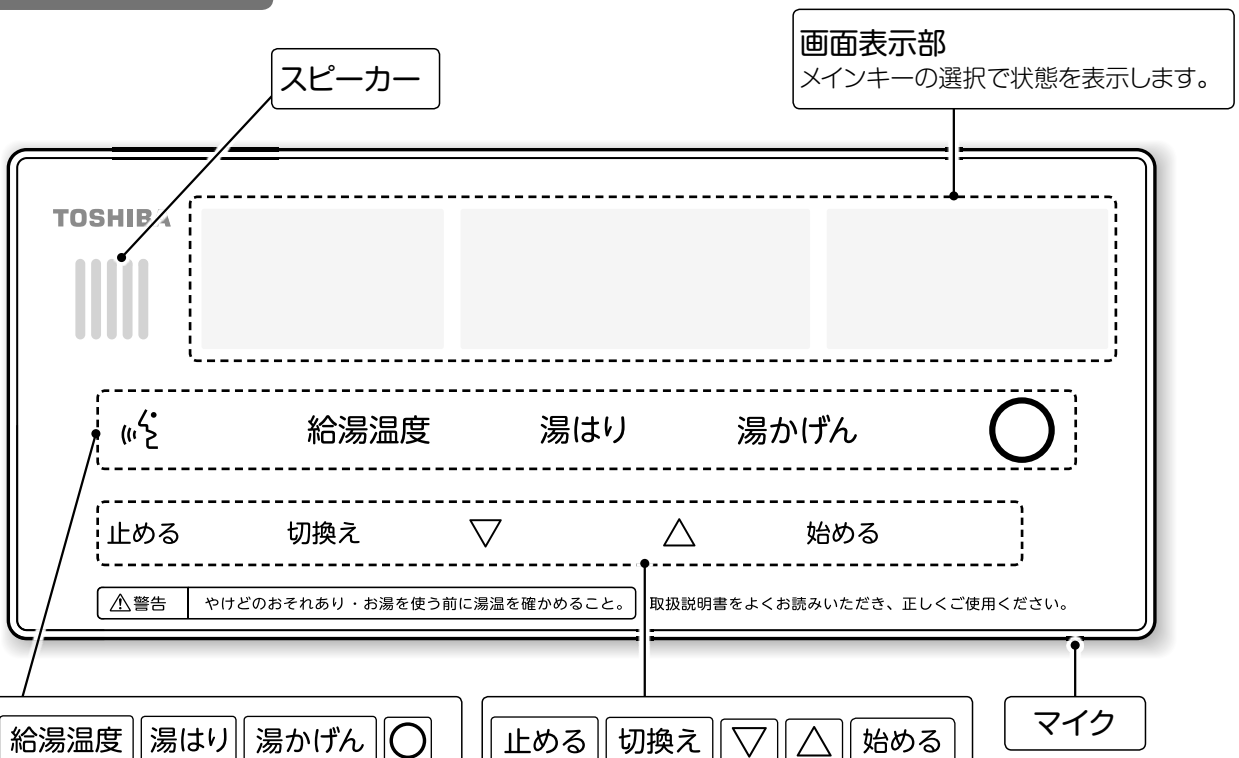
給湯温度 は白色で点灯し ▽ △ は点灯せず、浴室リモコンで給湯温度を変更できません。

浴室リモコンに水がかかるとき

浴室リモコンは防水タイプですが、水を直接かけないようにしてください。

表示が消えているときは◯にタッチ

キー操作部



給湯温度 湯はり 湯かげん ◯

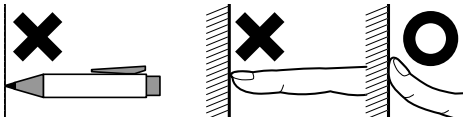
メインキー
浴室で使用する機能のキーです。
タッチすると操作できるサブキーが点灯します。

止める 切換え ▽ △ 始める

サブキー（調節&選択のキー）
メインキーにタッチすると選択できるキーが点灯します。

リモコンはボタン式ではなくタッチ式です。

文字部分を触ると操作できます。
（画面表示部にタッチしても操作できません。）



キーが点灯しないとき

- リモコンは、操作できるキーだけが点灯します。
- 一定時間操作しないと、キーと表示が消灯します。
  （初期設定：1分）
  消灯時間は、【表示の設定】メニューで変更できます。
  ➡ 本書20～21 ページ

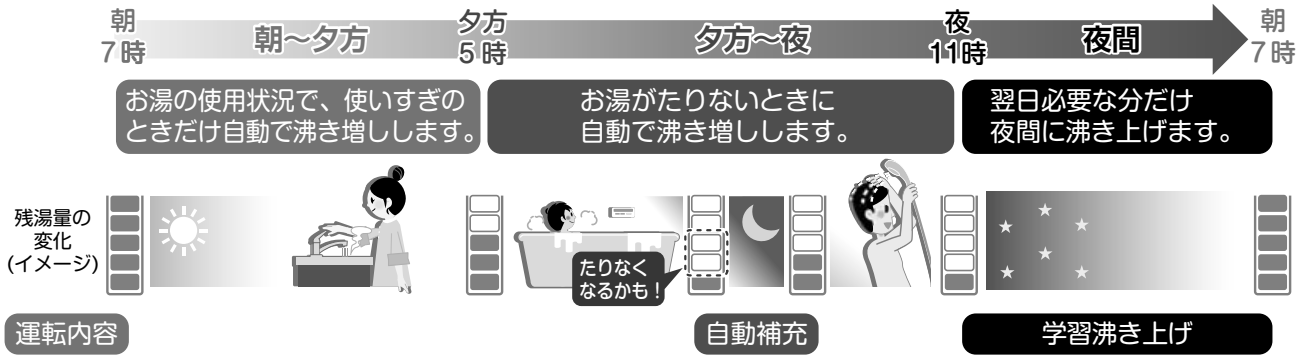
お湯の貯めかた（沸き上げ）

エコキュートは、主に夜間電力を使って１日に必要な量のお湯を自動でタンクに貯めます。（沸き上げ）
貯めかたには「おまかせ」と「おおめ」の2モードがあります。ご家庭のお湯の使用量に合わせて選択してください。

操作の流れ

貯湯 に 3秒間タッチ → ▽ △ で【お湯の貯め方】を選択して 始める にタッチ → ▽ △ で【おおめ】または【おまかせ】を選択 → 始める にタッチ

エコキュートはご家庭のお湯の使用状況を学習して沸き上げています。（学習沸き上げ）



沸き上げモードは、下記の2モードです。 初期設定は、「おまかせ」モードです。

モード	おまかせ	おおめ
リモコン表示	（月曜日） 12:00 おまかせ ℃	（月曜日） 12:00 おおめ ℃
モードの違い	**節約・省エネ** お使いのお湯の量を学習して、必要な量だけお湯を自動で沸かす、節約や省エネを優先するモードです。	**使い勝手優先** 「おまかせ」よりも温度を高めに、量を多めにお湯を沸かす、使い勝手を優先するモードです。
	湯温低め 湯量少なめ ← タンク内の湯温と湯量 →	湯温高め 湯量多め
	少なめ ← 電気料金 →	多め

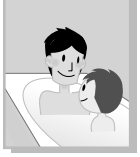
お知らせ

朝になっても、残湯量が全量になっていない

お湯の使用量によっては、全量を沸かしません。
朝になって全量表示していなくても異常ではありません。
（最初の1週間は最適な湯量を学習するため、
朝に全量になるように沸き上げます。
学習すると使用状況に合った量・温度のお湯を沸き上げます。）

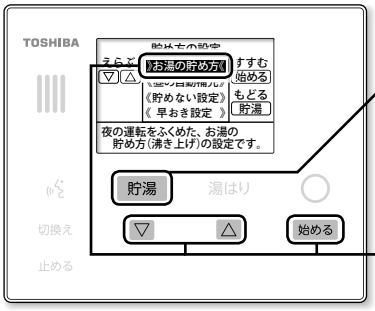
沸き上げ中は…

ヒートポンプユニットから運転音がします。
外気温が低いときは、運転音が大きくなることがあります。



表示が消えているときは◎にタッチ

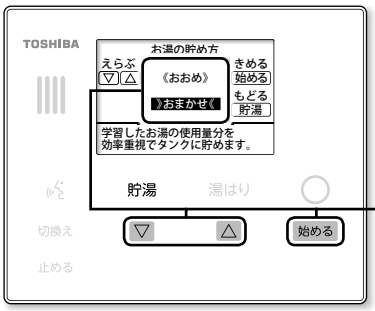
台所



1 貯湯 に3秒間タッチ

【貯め方の設定】画面が表示されます。

2 ▽ △ で【お湯の貯め方】を選択し、
始める にタッチ



3 ▽ △ で【おおめ】または【おまかせ】を選択し、
始める にタッチ

お湯がたりないとき

- 昼間時間帯（朝～昼）はお湯がたりないときだけ自動沸き増しします。
  ➡ 本書16ページ
- 自動沸き増しを止めて、手動で沸き増しをすることもできます。
  ➡『使いかたガイド』12～13ページ
- 翌日に来客などでお湯の不足が予想される場合、一晩だけ全量で沸かす設定ができます。
  ➡『使いかたガイド』16ページ

浴室 台所

昼間の自動補充運転（自動沸き増し）

昼間時間帯（朝～夜）は、お湯がたりないときだけ自動沸き増しします。
自動沸き増し運転は、止めることもできます。

操作の流れ

貯湯 に 3秒間タッチ → ▽ △ で【昼の自動補充】を選択して 始める にタッチ → ▽ △ で 項目を選択 → 始める にタッチ

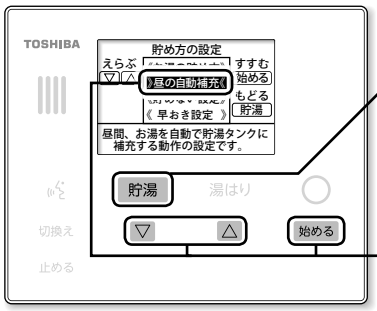
お願い!!

自動沸き増しを止めるときは、
残湯量目盛りに注意してお使いください。

ワンポイント!

表示が消えているときは◎にタッチ

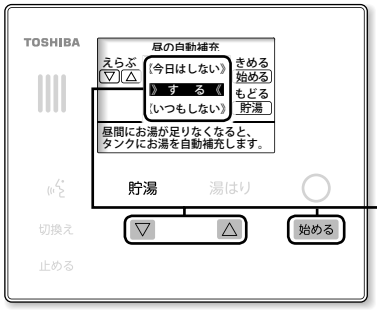
台所



1 貯湯 に3秒間タッチ

【貯め方の設定】画面が表示されます。

2 ▽ △ で【昼の自動補充】を選択し、始める にタッチ



3 ▽ △ で項目を選択し、始める にタッチ

今日はしない	設定した当日だけ、自動沸き増しをやめます。
する	自動沸き増しをする設定です。
いつもしない	設定した日から自動沸き増しをやめます。 解除するまで沸き増し停止が続きます。

お知らせ

お湯がたりないとき

- 自動沸き増しを止めてお湯がたりないときは、必要に応じて手動沸き増しを行ってください。
  ➡ 『使いかたガイド』12～13ページ
- 自動沸き増しを止めてお湯のたりない日が続くときは、沸き上げ設定を「おおめ」にすることをおすすめします。
  ➡ 本書 14 ページ

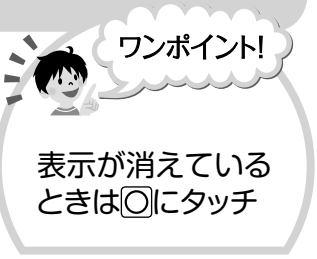
自動沸き増しを止めたのに、ヒートポンプユニットが動いている

外気温が低い場合は、ヒートポンプユニットの凍結防止のために沸き上げを行う場合があります。

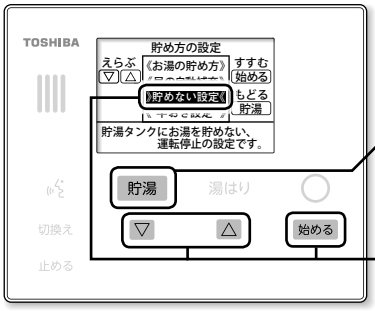
数日間お湯を使わないとき

旅行などで家を留守にするときは、指定した日数お湯を貯めない（沸かさない）ように設定できます。

操作の流れ → 貯湯 に3秒間タッチ → ▽ △ で【貯めない設定】を選択して 始める にタッチ → ▽ △ で日数を指定 → 始める にタッチ → 貯めない（沸かさない）



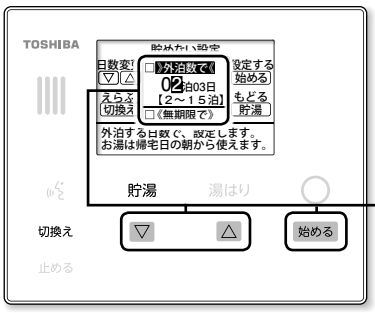
台所



1 貯湯 に3秒間タッチ

【貯め方の設定】画面が表示されます。

2 ▽ △ で【貯めない設定】を選択し、始める にタッチ

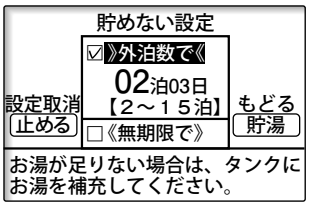


3 ▽ △ で日数を指定し、始める にタッチ

・（例）2泊3日の旅行に出かけるときは、日数を『02泊03日』に設定してください。

留守にする期間が未定のときは…
切換え で【無期限で】を選択して 始める にタッチします。

設定中の画面



● 設定を取り消すときは…
止める にタッチします。

日数を指定したとき

帰宅日の前夜からお湯を沸かします。

無期限を指定したとき

設定を解除するまでお湯を沸かしません。

長期間（1ヵ月以上）使わないとき

タンクの排水と配管の水抜きをしてください。
➡ 本書 36 ～ 37ページ

貯めない設定をしていても

外気温が低い場合は、ヒートポンプユニットの凍結防止のために沸き上げを行うことがあります。

浴室 台所

沸き上がりの時間を早める

※本製品では不要な機能ですので、設定しないでください。

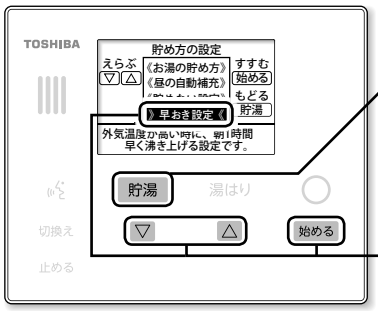
外気温が高い時期には、朝の沸き上がり時間を１時間早める設定ができます。
ソーラーパネルで発電した電気を貯湯以外に使いたいときの設定です。

操作の流れ

貯湯 に 3秒間タッチ → ▽ △ で【早おき設定】を選択して 始める にタッチ → ▽ △ で【する】または【しない】を選択 → 始める にタッチ

ワンポイント!
表示が消えているときは◯にタッチ

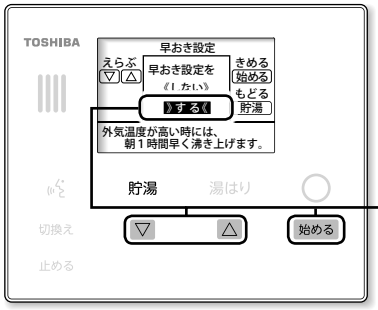
台所



1 貯湯 に3秒間タッチ

【貯め方の設定】画面が表示されます。

2 ▽ △ で【早おき設定】を選択し、始める にタッチ



3 ▽ △ で【する】を選択し、始める にタッチ

湯かげんを自動で調節する（保温・たし湯）

湯はり後に、自動で行う保温やたし湯を変更できます。

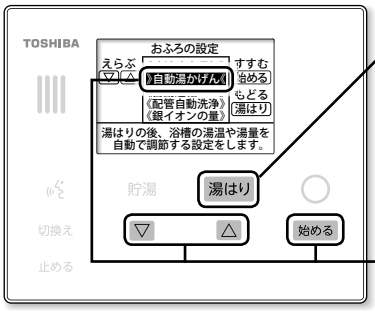
操作の流れ

湯はり に 3秒間タッチ → ▽ △ で【自動湯かげん】を選択して 始める にタッチ → ▽ △ で 項目を選択 → 始める にタッチ

【自動でしない】を設定しているときは、
必ず浴槽をからにして湯はりを行ってください。

表示が消えている
ときは◯にタッチ

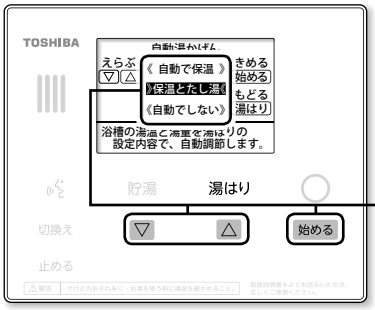
台 所



1 湯はり に3秒間タッチ

【おふろの設定】画面が表示されます。

2 ▽ △ で【自動湯かげん】を選択し、
始める にタッチ



3 ▽ △ で項目を選択し、
始める にタッチ

それぞれの項目の設定内容は
下記をご覧ください。

自動で保温	湯はりの後、設定した時間中、浴槽の温度が下がると自動で保温します。	● 自動湯かげんの運転時間は30～360分まで30分刻みで設定できます。（初期設定は120分です） ● 自動湯かげんの運転時間は短めに設定することをおすすめします。長く設定すると、タンクの湯温が下がり、残湯量目盛りが減ることがあります。
保温とたし湯	湯はりの後、設定した時間中、浴槽の温度や水位が下がると自動で保温やたし湯をします。	
自動でしない	湯はりの後は、保温やたし湯を行いません。	この設定のときだけ、**湯はり量を60～600L**の範囲で設定できます。半身浴など、浴槽循環金具より下の湯量で湯はりをしたいときに選択してください。

自動湯かげんの時間設定

自動湯かげんの運転時間は、
手順2で【自動運転時間】を選択して
表示された画面で設定します。

▽ △ で時間を指定し、
始める にタッチします。

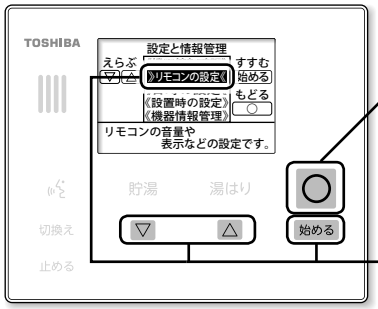
リモコンの機能

ガイダンスや操作音の音量、表示の点灯時間・タッチスイッチ（キー）の感度など、
お好みに合わせて設定できます。（浴室リモコンの設定変更も台所リモコンで行います）

操作の流れ

○ に3秒間タッチ → ▽ △ で【リモコンの設定】を選択して 始める にタッチ → ▽ △ で項目を選択 → 始める にタッチしてリモコンの各種設定

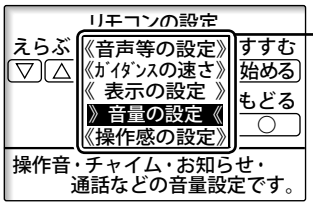
台 所



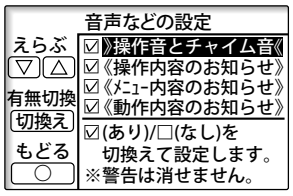
1 ○ に3秒間タッチ

【設定と情報管理】画面が表示されます。

2 ▽ △ で【リモコンの設定】を選択し、始める にタッチ



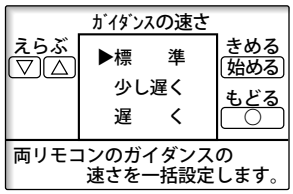
3 ▽ △ で設定したい項目を選択し、始める にタッチ



音声などの設定

操作音、チャイム音、各種お知らせガイダンスの音の有無を設定します。

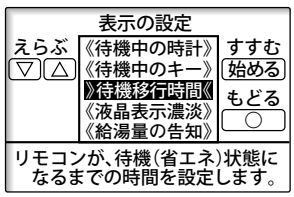
▽ △ で項目を選択し、切換え でチェックマークの有無を設定します。



ガイダンスの速さ

ガイダンスのナレーションの速さを設定します。

▽ △ で速さを指定し、始める で決定します。



表示の設定

待機中画面への移行時間や待機中の表示、液晶画面の濃淡などを設定します。

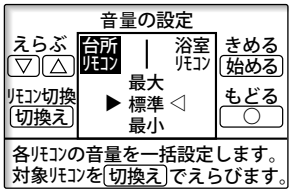
設定項目の詳細 ➡ 次ページ

▽ △ で設定したい項目を選択し、始める にタッチします。

手順3の画面に戻るには…
○ にタッチ

通常画面に戻るには…
○ に3秒間タッチ

表示が消えているときは◯にタッチ



音量の設定

リモコンの操作音や各種お知らせガイダンスなどの音量を設定します。

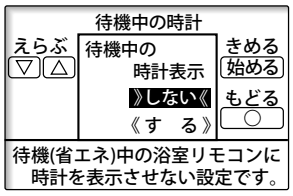
切換えでリモコンを指定します。
▽△で音量を指定し、始めるで決定します。

操作感の設定

リモコンのタッチキーの操作感度を設定します。

切換えでリモコンを指定します。
▽△で操作感を指定し、始めるで決定します。

【表示の設定】メニュー



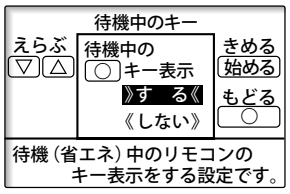
待機中の時計

浴室リモコンの待機（省エネ）中画面での時計表示の有無を設定します。

▽△で【する】/【しない】を選択し、始めるで決定します。

【表示の設定】画面に戻るには…
◯にタッチ

通常画面に戻るには…
◯に3秒間タッチ



待機中のキー

待機（省エネ）中に◯キーを消灯させるか設定します。

▽△で【する】/【しない】を選択し、始めるで決定します。

待機移行時間

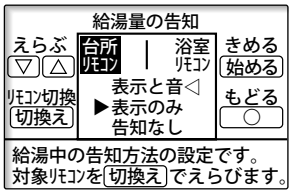
リモコンが待機（省エネ）状態に移行するまでの時間を1～60分の範囲で設定します。

▽△で移行するまでの分数を設定し、始めるで決定します。

液晶表示濃淡

台所リモコンの液晶表示のコントラストを数値（32（淡）～96（濃））で設定します。

▽△で数値を指定し、始めるで決定します。



給湯量の告知

使用中の給湯量のお知らせをリモコンでどのように行うか設定します。

切換えでリモコンを指定します。
▽△で告知方法を指定し、始めるで決定します。

連絡先電話番号を登録する

故障時に備えて、販売店や工事店の電話番号を登録しておきます。

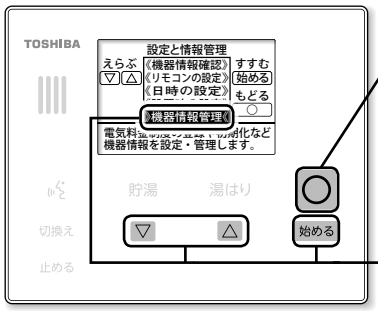
操作の流れ

○ に3秒間タッチ → ▽ △ で【機器情報管理】を選択して 始める にタッチ → ▽ △ で【電話番号登録】を選択 → 始める にタッチ

ワンポイント!

表示が消えているときは○にタッチ

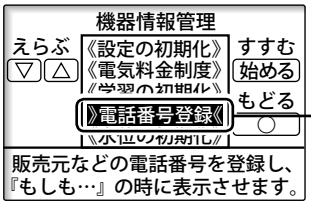
台所



1 ○ に3秒間タッチ

【設定と情報管理】画面が表示されます。

2 ▽ △ で【機器情報管理】を選択し、始める にタッチ



3 ▽ △ で【電話番号登録】を選択し、始める にタッチ

4 電話番号を入力

数字を変えるには…

▽ △ で、数字を変更します。

桁を変えるには…

切換え で、次の桁に移ります。

登録できる電話番号は1つです。

5 始める にタッチ

（始める にタッチしないと確定しません）

連絡先の電話番号を呼び出すには…

手順1～3の操作を行い、【電話番号登録】を表示させる

お買い上げ時の設定

お買い上げ時は、0120-1048-19（東芝電気給湯機ご相談センター）が登録されています。

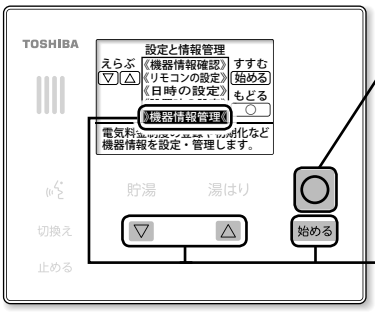
設定を初期化する

リモコンの設定や機器が学習した設定を、初期状態に戻します。

操作の流れ
○ に3秒間タッチ → ▽△ で【機器情報管理】を選択して 始める にタッチ → ▽△ で項目を選択 → 始める にタッチして設定・学習・水位の初期化

ワンポイント!
表示が消えているときは○にタッチ

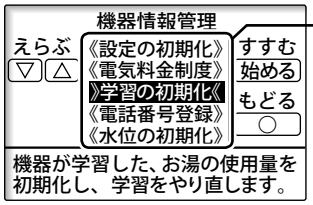
台所



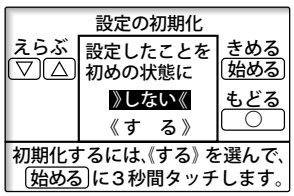
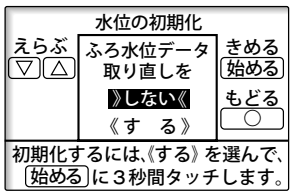
1 ○ に3秒間タッチ

【設定と情報管理】画面が表示されます。

2 ▽△ で【機器情報管理】を選択し、始める にタッチ



3 ▽△ で初期化したい項目を選択し、始める にタッチ

	**設定の初期化** 音量やガイダンスの速さなど、リモコンの設定を初期化します。
	学習の初期化 機器が学習したお湯の使用量を初期化します。 不用意に操作しないでください。 思わぬ電気料金になることがあります。
	**水位の初期化** 湯はりの水位が安定しなかったり、浴槽からお湯があふれるなどの現象が続く場合に行います。 機器が学習したお風呂の水位を初期化します。

▽△ で【しない】または【する】のいずれかを指定し、始める を3秒間タッチして決定します。

【機器情報管理】画面に戻るには…
○ にタッチ

通常画面に戻るには…
○ に3秒間タッチ

浴槽のお手入れ

浴槽の清掃（日常）

浴槽の主な汚れは、一般的には湯あか（皮脂、角質などの皮膚の老廃物（あか）、石けんカス、ほこりなどが結合したもの）や水あか、空気中に微量浮遊している粒子状の物質（スス）が徐々に蓄積したものです。
また、浴槽材料によっては発泡系の入浴剤も汚れの原因となります。
汚れの種類により浴室用中性洗剤やクレンザー（微粒子タイプ）などを使ってしっかりお掃除をしましょう。
残り湯を排水したまま放っておくと、汚れが乾いて落ちにくくなりますので、排水後すぐのお掃除がおすすめです。

浴槽やタイルが青くなる…

使用地域の水質や給湯機の銅配管により薄青くなることがあります。
これは、水中に含まれる銅イオンと石けんなどに含まれる脂肪酸とが反応してできるもので、人体に害はありません。
使用時間とともに発生しにくくなりますが、
市販の浴室用（油汚れ専用）洗剤で落とすことができます。

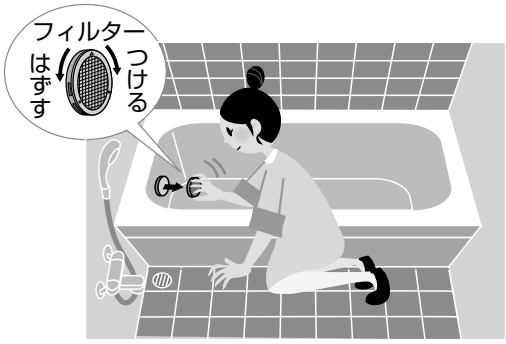
市販の浴室用（油汚れ専用）洗剤

・マジックリン（花王株式会社）
・速効湯アカ分解（株式会社リンレイ）など

浴槽循環金具／リモコンのお手入れ

浴槽循環金具の掃除（週 1 回）

- 浴槽内のフィルターをはずし、1週間に1回程度掃除をしてください。フィルターが目詰まりすると、正常な湯はり・自動保温運転ができずお知らせコードが表示することがあります。
- 掃除後はフィルターを確実に取り付けてください。フィルターを取り付けないで使用すると、故障の原因になります。



リモコンの掃除（日常）

- 表面の汚れは、水にぬらしたやわらかい布をかたく絞って、軽くふき取ります。
- 洗剤およびシンナー・ベンジン・アルコールなどは使わないでください。
- 台所リモコンは防水機能はありませんので、水をかけないようにしてください。
- 浴室リモコンにもお湯や水を直接かけないようにしてください。
- タッチキー部を掃除するときは、キー操作のロックで、操作を受け付けない設定にしてから掃除してください。
  キー操作のロックは、台所リモコン、浴室リモコンとも ◯ → 切換え の順でタッチしてください。
- たわしなど硬い物でこすると表面にキズがつきます。

貯湯ユニットへの水の貯めかた

タンクが空になっていると、混合水栓のお湯側を開いても、お湯（水）が出ません。
下記操作を行ってタンクに水を貯めてください。

貯湯ユニット

1 逃し弁扉を開け、
逃し弁レバーを上げて、
逃し弁を開ける

- 逃し弁を開けないと、確実に給水できません。

2 給水止水栓を開ける

- 給水止水栓は、貯湯ユニットに接続されている水道（給水）配管の途中に設置されています。
- 給水止水栓の形状は、止水栓のタイプにより異なります。

3 排水口から連続して勢いよく水が出ることを確認する

- 給水止水栓を開けてから、20～40分程度かかります。
- 排水口が見えないときは、水の音で確認してください。

4 逃し弁レバーを戻し、
逃し弁扉を閉じる

- 逃し弁レバーを戻すと、水も止まります。
- 逃し弁扉を閉じ、ねじを確実に締めます。

5 混合水栓のお湯側を開く
（右ページ下図）

- 水が連続的に出ることを確認します。
- 確認できたら、混合水栓を閉じます。

6 電源扉を開け、
漏電しゃ断器を「入」にする

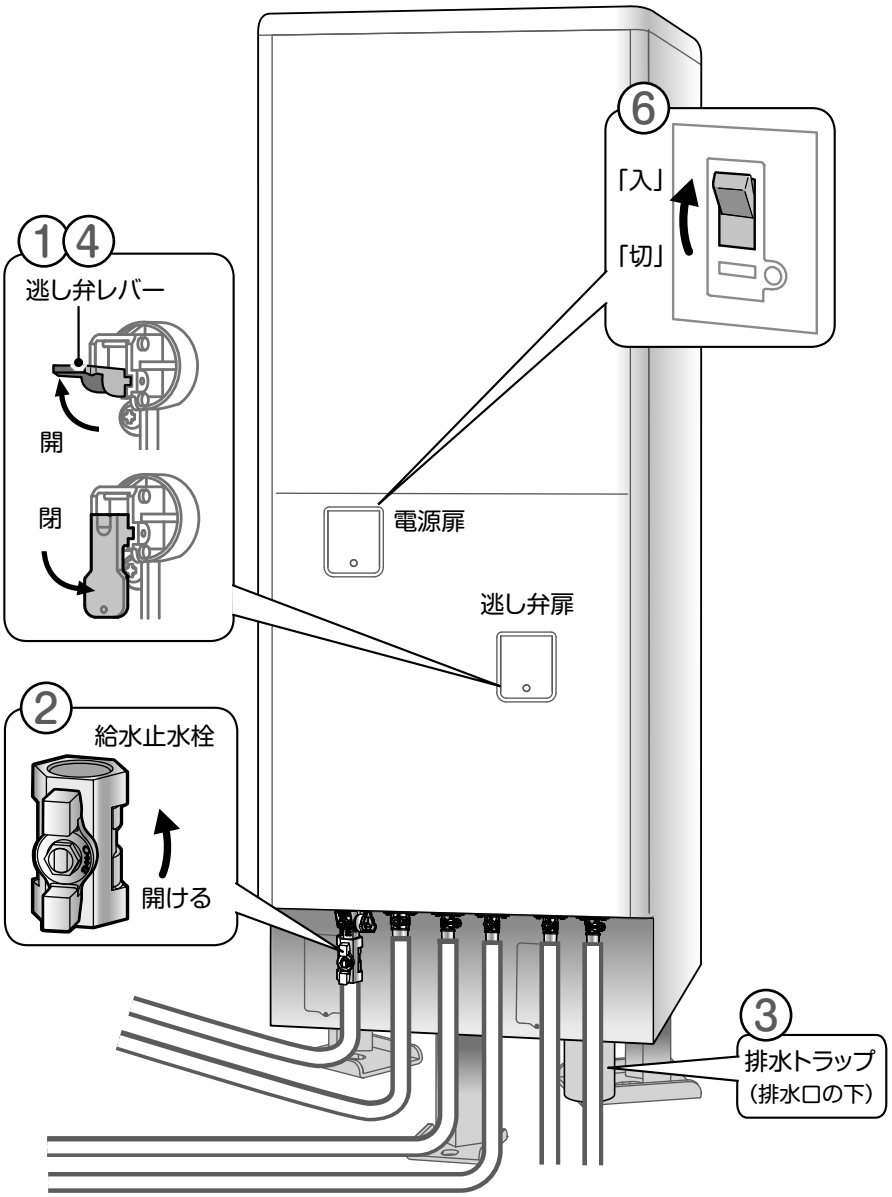
- 電源扉を閉じ、ねじを確実に締めます。

7 リモコンの日時を合わせる

- 『使いかたガイド』18ページの手順で合わせてください。

給水時について

・タンク内の空気の排出音がしますが、故障ではありません。（満水になると音はしなくなります。）
・排水口から少量の水が出る場合がありますが、故障ではありません。

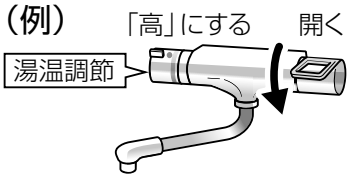


⑤

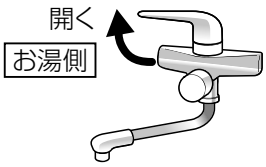
混合水栓のお湯側の開きかた

お湯の出しかたは、混合水栓のタイプにより異なります。

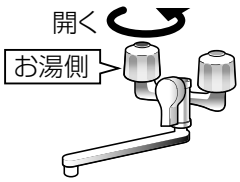
(例)



■ サーモスタットタイプ
湯温調節を「高」にして開く。



■ シングルレバータイプ
お湯側にレバーを回して開く。



■ 2ハンドルタイプ
お湯側だけを開く。

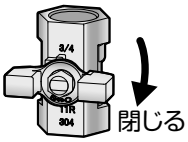
貯湯ユニットのお手入れ

貯湯ユニットに脚部カバーを取り付けている場合は、はずしてください。
下記の操作は、本書8～9ページの『各部の名前とはたらき』を参照して行ってください。

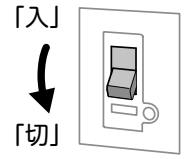
給水口ストレーナーの掃除（必要に応じて）

お湯の出が悪くなったら、
貯湯ユニットのストレーナーの掃除を行ってください。

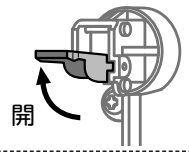
1 給水止水栓を閉じる



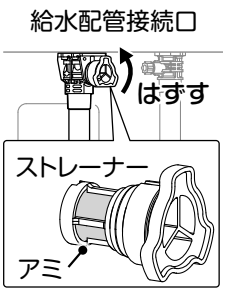
2 電源扉を開け
漏電しゃ断器を
「切」にする



3 逃し弁扉を開け、
逃し弁レバーを
上げてから約1分間待つ

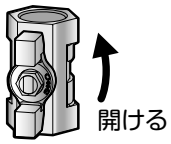


4 貯湯ユニットの
ストレーナーをはずし、
アミを掃除する
① ストレーナーをはずす
容器などで水を受けてください
② 水を流しながらブラシな
どでアミをよく洗う。

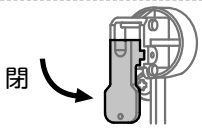


5 ストレーナーを取り付け、
確実に締め付ける

6 給水止水栓を開き、
ストレーナー部などから
水漏れがないかを確認する



7 逃し弁レバーを戻す



8 漏電しゃ断器を「入」にし、
電源扉・逃し弁扉を閉じ、
ねじを確実に締める

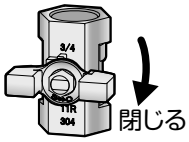
9 混合水栓のお湯側を開き、
お湯が出ることを確認する
●お湯が飛び散る場合があります。ご注意ください。

タンク内の掃除（年に２～３回）

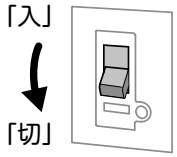
● いつもきれいなお湯が使えるように、
タンクの底に沈殿した水あかなどを排水させます。

● タンク内の掃除は残湯量が3目盛り以下、または
一度湯はりをした後に行ってください。
（熱いお湯で排水口を傷める場合があります）

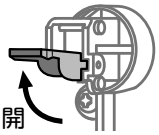
1 給水止水栓を閉じる



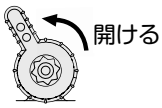
2 電源扉を開け
漏電しゃ断器を
「切」にする



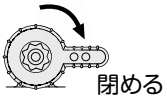
3 逃し弁扉を開け、
逃し弁レバーを
上げてから約1分間待つ



4 排水栓扉を開け、
排水栓を開く
（左へ回す）

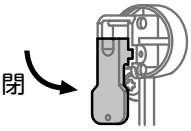


5 水がきれいになったら
（約2分が目安）
排水栓を閉める（戻す）



6 排水が止まったら、給水止水栓を開き、
排水トラップにお湯が出てくるのを確認する
（見えないときは音で確認）

7 お湯が出てきたらすぐに、
逃し弁レバーを戻す



8 漏電しゃ断器を「入」にし、
電源扉・逃し弁扉を閉じ、
ねじを確実に締める

9 混合水栓のお湯側を開き、
お湯が出ることを確認する
●お湯が飛び散る場合があります。ご注意ください。

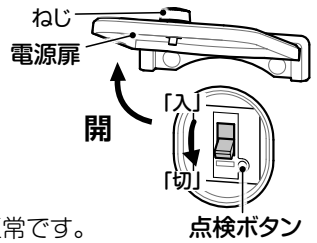
点検する

事故を防ぐために、以下の点検を必ず行ってください。

漏電しゃ断器の動作確認（年に２～３回）

漏電しゃ断器は、万一漏電したとき
自動的に電気を切るための安全装置です。
年に2～3回、漏電しゃ断器の動作確認をしてください。

1 電源扉を開け、点検ボタンを押す



● 漏電しゃ断器が「切」になれば正常です。

2 必ず漏電しゃ断器を「入」に戻し、電源扉を閉じ、ねじを確実に締める

水漏れの点検（日常）

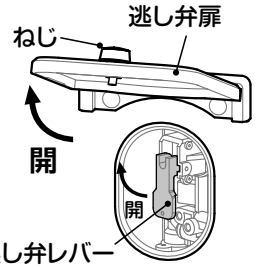
貯湯ユニットの設置場所に水漏れがないか確認してください。
特に集合住宅では、漏水が階下へ被害を与えます。

逃し弁の動作確認（年に２～３回）

● 逃し弁は水からお湯になるときの膨張分を排水し、タンクを守る安全装置です。正常に動作しないとタンクが変形し、水漏れや故障の原因になります。

● 年に2～3回は、逃し弁レバーを上げて、動作を確認してください。
動作確認は、沸き上げ（沸き増し）をしていないときに行ってください。

● レバーを上げると排水し、戻すと排水が止まれば正常です。止まらない場合は、販売店または工事店に修理を依頼してください。



● 確認のために脚立などを使うときは、転倒しないように十分に気をつけてください。

凍結防止の確認（冬が近づいたら）

冬が近づいてきたら、早めに、
凍結防止ヒーターの電源を入れることをおすすめします。

➡ 本書30 ページ

定期点検（有料）

本製品を長期間安心してお使いいただくために、3～4 年に1 回の定期点検をおすすめします。
点検費用については、販売店または工事店にご相談ください。
定期点検で見つかった不都合な部品は、保証期間中は無料で取り替えます。
（消耗部品の保証期間は2年間です。）

定期点検の主な内容

● 据付状態の点検	貯湯ユニット設置面（アンカーボルトの取り付け状態など）、配管状態（断熱処理など）、電気配線・アースの確認など、ヒートポンプユニットの据付状態、システムの水漏れ確認。
● 部品の点検	貯湯ユニットの弁類（減圧弁・逃し弁・ミキシングバルブなど）、電気部品（制御基板など）、ポンプ、逆流防止装置、ヒートポンプユニット電気部品（制御基板）、圧縮機の点検。
● 掃　除	タンク内の掃除、貯湯ユニットのストレーナーの掃除。

消耗部品・劣化しやすい部品　※部品交換のときは、当社純正部品をご指定ください。

●減圧弁　●逃し弁　●ミキシングバルブ　●電磁弁（簡易ホッパー）　●ポンプ
●二方弁　●三方弁　●水位センサー

5年保証に関する免責事項　※部品交換のときは、当社純正部品をご指定ください。

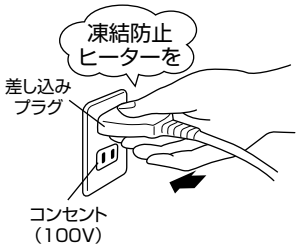
➡ 本書55 ページ に5年保証に関する免責事項が記載してあります。大変重要な内容ですので、必ずお読みください。

冬が来る前に（凍結を防止する）

凍結して配管などが破損するおそれがある場合は、下記の対応が必要です。

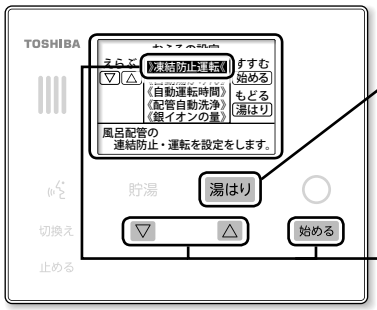
給水・給湯・浴槽・ヒートポンプ配管

- 外気温がマイナス5℃以下になると、保温工事をしていても凍結のおそれがあります。凍結防止ヒーターによる工事説明書どおりの保温工事を行ってあることを確認してください。
- 水が凍る時期には、すべての配管の凍結防止ヒーターの差し込みプラグを100Vのコンセントに差し込んでください。
  また、凍結の心配がない時期になったら、差し込みプラグをコンセントから抜いてください。
- 製品に凍結防止ヒーターを追加施工された場合は、その凍結防止ヒーターにも通電してください。
  （コンセントやスイッチの場合があります）
- 寒さが本格的になる前に、凍結防止ヒーターの電源を入れてください。



風呂配管凍結防止運転を止めるには

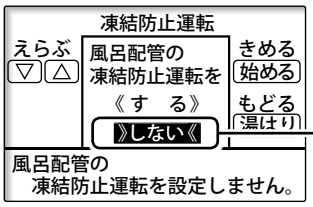
台 所



1 湯はり に3秒間タッチ

【おふろの設定】画面が表示されます。

2 ▽ △ で【凍結防止運転】を選択し、始める にタッチ



3 ▽ △ で【しない】を選択し、始める にタッチ

ファンやポンプが運転しているとき

- ヒートポンプユニットは、停止中も外気温によりファンを運転することがあります。
- 厳寒期以外でも、外気温によっては循環ポンプが運転することがあります。

機器の電源は「入」のままにしてください。
通電していないと凍結防止のための運転ができません。

浴槽配管（風呂配管の凍結防止運転）

- 外気温が下がると、浴槽に残ったお湯を循環させて、凍結を防ぎます。
- 浴槽のお湯は必ず浴槽循環金具より5cm以上残してください。お湯がないと、お湯を循環できません。
- 浴槽にお湯を残していない場合でも、外気温が下がるとポンプが運転し、浴槽循環金具からお湯や水が出ることがありますが、異常ではありません。

※ 浴槽配管に凍結防止ヒーター工事をした場合は、浴槽にお湯を残す必要はありません。
リモコンで、本書 30 ページの「風呂配管凍結防止運転を止めるには」を設定してください。

ヒートポンプユニット

- 外気温が下がると、ヒートポンプ配管の水を自動で循環し凍結を防ぎます。
- さらに外気温が下がると、ヒートポンプユニットを運転して、ヒートポンプ配管の凍結を自動で防ぎます。

停電のとき

停電した時間が２時間以内のとき

停電中は…

- タンクに貯めたお湯は、停電前の設定温度で混合水栓から給湯できますが、温度調節ができないため、必ず湯温を確かめてからご使用ください。
- マンションなどの貯水槽から水が供給されている場合は、停電中はお湯を使用できません。

停電から復帰したときは…

- 停電から復帰したときは、台所リモコンの時計が表示されていることを確認してください。
  下記の画面が表示されているときは、日付と時刻を設定してください。
  ➡ 『使いかたガイド』18ページ

> ❗機器に日時の情報がありません
> 始める にタッチして、
> 正しく合わせてください。
>
> 合わせていただいた日時を基に、主に夜時間でお湯を貯めますが、使用量が多く、貯湯量がへると、昼も自動で沸かす運転をします。

長時間の停電が予想されるとき

冬期で凍結のおそれがあるときは…

- 停電中は凍結防止運転ができません。
  凍結による破損を防ぐため、タンク内のお湯の排水および配管の水抜きをしてください。
  『長期間使わないとき』にしたがって、タンク内のお湯の排水および配管の水抜きをしてください。
  ➡ 本書36～37 ページ

非常用水を使った後は…

- 断水から復帰したときは、
  『貯湯ユニットへの水の貯めかた』にしたがってタンクに水を貯めなおしてください。
  ➡ 本書26～27 ページ

非常用水を取り出すときは…

- 停電および断水のときは、
  タンク内のお湯（または水）を生活用水としてご利用できます。
- 非常用水を取り出すときは、
  『非常時にタンクの水を取り出すとき』の手順で取り出してください。
  ➡ 本書34 ページ

断水や水道工事のとき

予定された断水や水道工事の前には、汚れた水がタンク内に入るのを防ぐために
給水止水栓の開け閉めが必要です。

貯湯ユニット

1 断水が始まる前に、
給水止水栓を閉める

工事などにより汚れた水が、
タンクに入るのを防ぐためです。

2 断水が終了したら、
混合水栓の水側だけを開ける

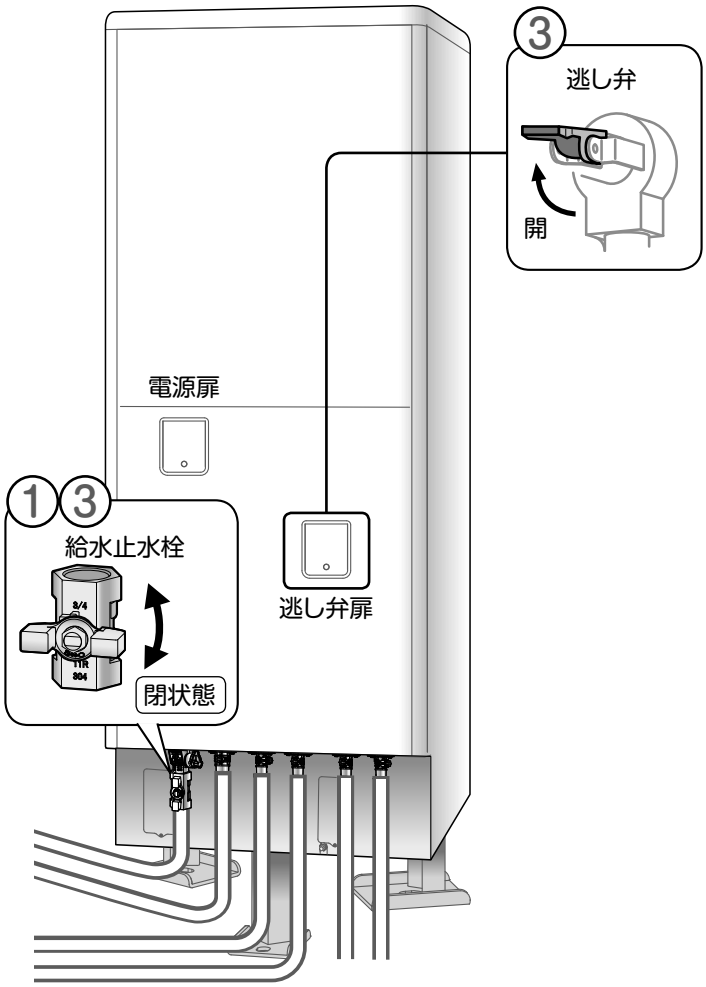
汚れた水が出なくなるまで
水を出し続けます。

3 給水止水栓を開け、
逃し弁を開けて
お湯が出ることを確認する

『貯湯ユニットへの水の貯めかた』を
参考に行ってください。
➡ 本書26～27 ページ

4 混合水栓のお湯側を
ゆっくり開き、
お湯が出ることを確認する

配管に空気が入り込み、
お湯が飛び散る場合がありますので、
ご注意ください。

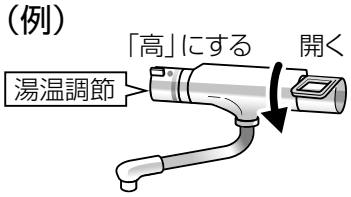


④

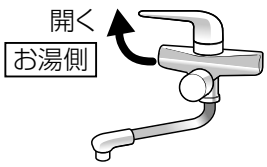
混合水栓のお湯側の開きかた

お湯の出しかたは、混合水栓のタイプにより異なります。

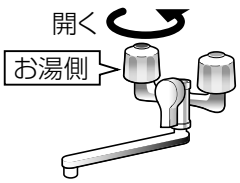
（例）



■ サーモスタットタイプ
湯温調節を「高」にして開く。



■ シングルレバータイプ
お湯側にレバーを回して開く。



■ 2ハンドルタイプ
お湯側だけを開く。

非常時にタンクの水を取り出すとき

お願い!!

熱いお湯が出るため、十分に注意して取り出してください。

万一の災害による断水時に、タンク内のお湯（水）を生活用水としてご利用できます。

貯湯ユニット

1 電源扉を開け、漏電しゃ断器を「切」にする

2 給水止水栓を閉める

3 逃し弁扉を開け、逃し弁レバーを上げる（逃し弁が開きます。）

4 非常用取水栓を開き、お湯(水)を出す

開いてすぐは汚れた水が出ます。
きれいになってからお使いください。
熱に強い容器で受けてください。

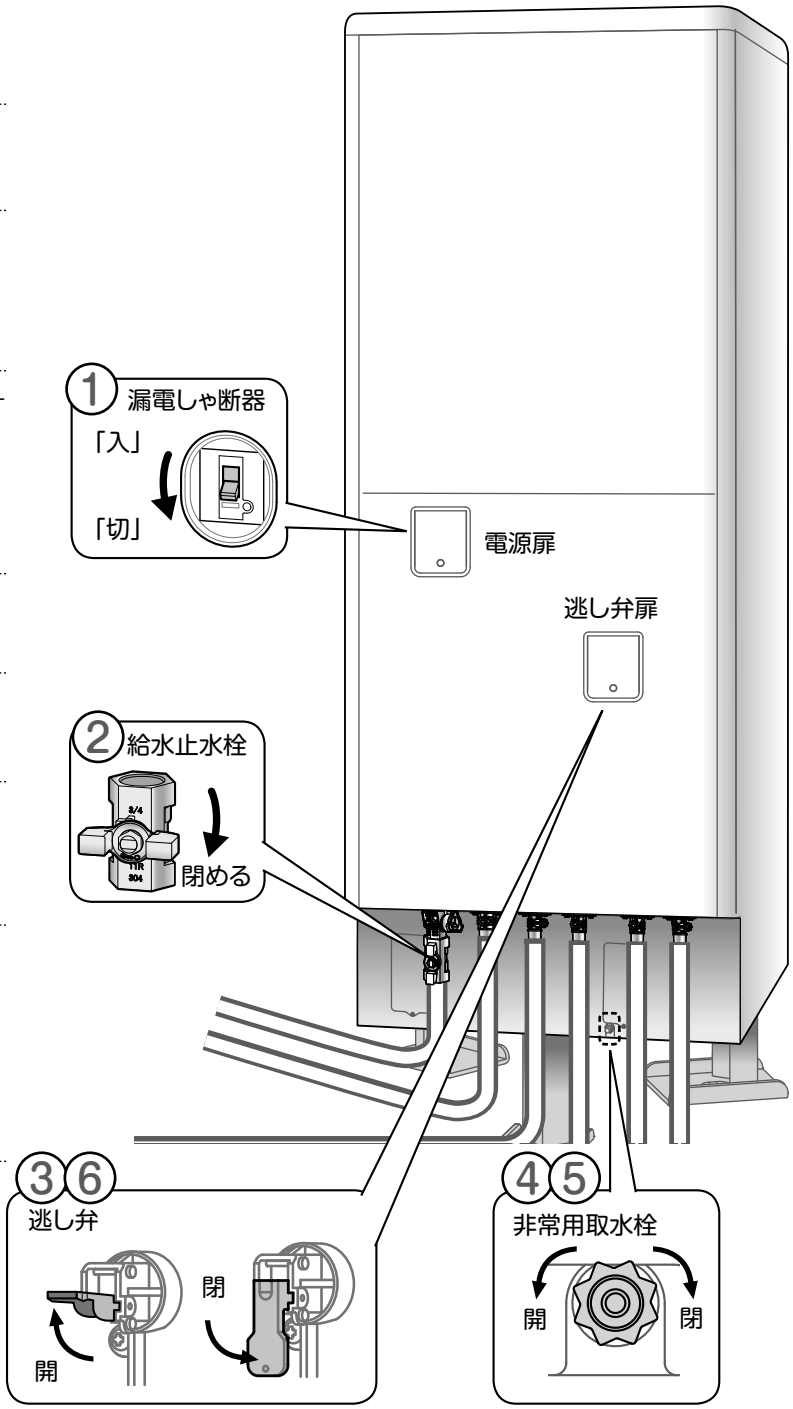
使用後は…

5 非常用取水栓を閉める

6 逃し弁レバーを戻す（逃し弁が閉じます。）

7 1・3で開けた、電源扉と逃し弁扉を閉め、確実にねじを締める

・漏電しゃ断器は「入」にしないでください。



お知らせ

再び使用するときは…

『貯湯ユニットへの水の貯めかた』にしたがって、給水してください。 ➡ 本書26～27 ページ

配管の水や ポンプのエアを抜くとき

メンテナンス時に、配管の水抜きやポンプのエア抜きの設定をします。

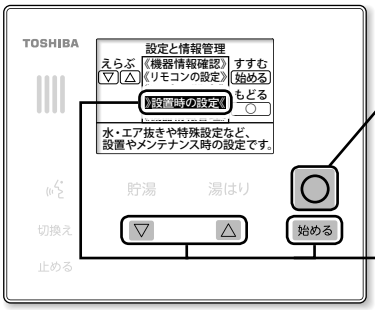
操作の流れ

○ に3秒間タッチ → ▽△ で【設置時の設定】を選択して 始める にタッチ → ▽△ で項目を選択して 始める にタッチ → ポンプのエア抜き / 配管の水抜き

ワンポイント!

表示が消えているときは○にタッチ

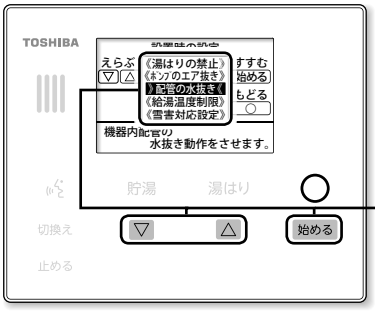
台所



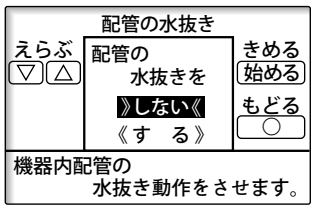
1 ○ に3秒間タッチ

【設定と情報管理】画面が表示されます。

2 ▽△ で【設置時の設定】を選択し、始める にタッチ

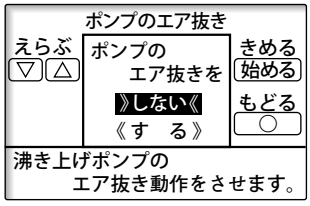


3 ▽△ で下記のいずれかを選択し、始める にタッチ



配管の水抜き

長期間使わないときに、配管の水抜きをします。



ポンプのエア抜き

ヒートポンプ配管のエア抜きをします。

▽△ で【しない】または【する】のいずれかを指定し、始める にタッチして決定します。

手順3の画面に戻るには…
○ にタッチ

通常画面に戻るには…
○ に3秒間タッチ

長期間使わないとき（タンクの排水・配管の水抜き）

長期間（1ヵ月以上）使わないときや貯湯ユニットの漏電しゃ断器を「切」にするときは、
下記の手順にしたがって、各部の排水および水抜きをしてください。
（タンク内のお湯（水）を抜かないと、凍結により部品が破損したり、水質が変化したりします。）

貯湯ユニット

1 浴槽の残り湯を排水する

2 電源扉を開け、
漏電しゃ断器を「切」にする

3 給水止水栓を閉める

4 逃し弁扉を開け、
逃し弁レバーを上げる
（逃し弁が開きます。）

5 排水栓扉を開け、
排水栓を開けたあと、
貯湯ユニットのヒートポンプ戻り
水抜き栓を開ける

- 約40～70分でタンク内の水が抜けます。
- 見えないときは、水の音で確認してください。
- 熱湯が出るので注意してください。
- ヒートポンプ戻り水抜き栓より
  少量の水が出ますので容器などで
  受けてください。

6 貯湯ユニットの水抜き栓6ヵ所を
5分以上開けてから
ヒートポンプユニットの水抜きをする

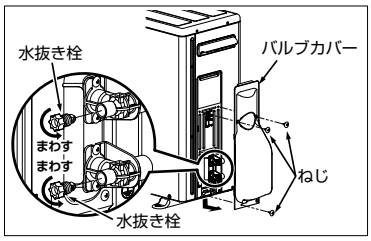
- 容器などで水を受けてください。
- 水や熱湯が勢いよく出ることがあります。
  ご注意ください。
- 設置状況によっては、水が抜けるまでに
  時間がかかる場合があります。
  水抜き栓はいっぱいまで開けてください。

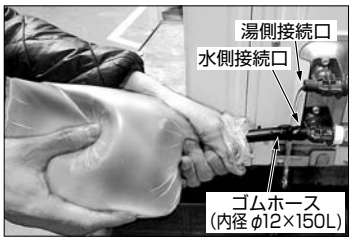
7 点検扉を開け、水抜き用弁棒を
指で押し上げる

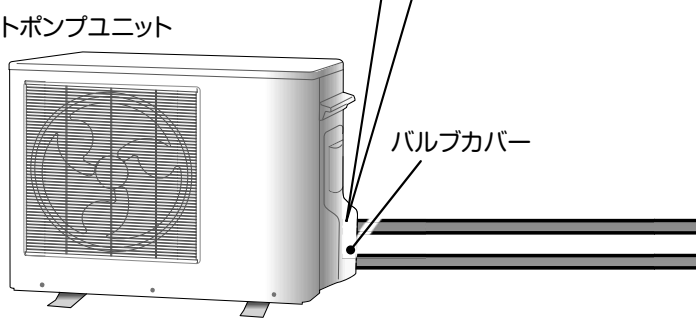
- 水が出なくなるまで
  弁棒を押し上げてください。

⑥ ヒートポンプユニットの水抜き方法

①バルブカバーをはずし、接続口の水抜き栓（2ヵ所）をはずします。
②水側接続口に、貯湯ユニット付属品に同梱のゴムホースを取り付けます。
③A4サイズ（容量約1リットル）くらいのビニール袋に空気を入れ、写真のように手で根元を押さえて空気を押し込み、配管内の残水を排水します。
・湯側接続口から水が出なくなるまで排水します。
（約500～600CC排水されます）
※ビニール袋は現地で調達してください。
※市販の空気入れなど、空気を押し込むことのできる道具でも代用可能です。
④接続口の水抜き栓（2ヵ所）を元どおりに取り付けて作業完了です。







⑨ 水抜き動作設定方法

ボタンリモコン	光タッチリモコン
1. 決定 を押しながら 時計 を押す ●【特殊設定】画面が表示されます。	1. ◯ に3秒間タッチ ●【設定と情報管理】画面が表示されます。
2. ▲ を1回押し、決定 を押す ● 温度表示部に【2】が表示されます。	2. ▽ △ で【設置時の設定】を選択し、始める にタッチ
3. ▲ で【on】を選択し、決定 を押す	3. ▽ △ で【配管の水抜き】を選択し、始める にタッチ
	4. ▽ △ で【する】を選択し、始める にタッチ

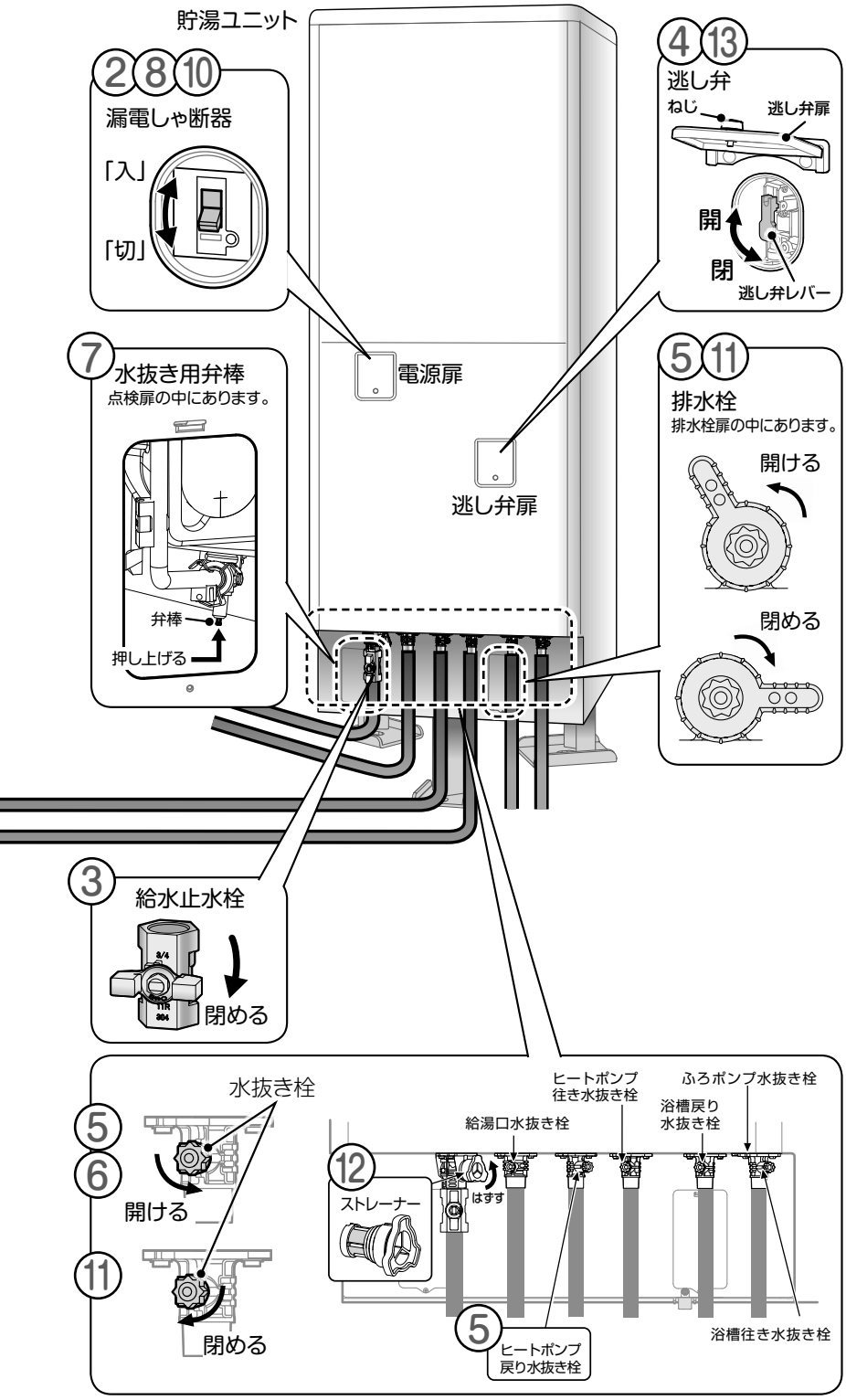
お願い!!

再び使用するときは、
『貯湯ユニットへの水の貯めかた』に
したがって、給水をしてください。

➡ 本書26～27 ページ

※凍結のおそれがある時期は再給水できない場合があります。しばらく時間が経過しても再給水できない場合は、東芝電気給湯機ご相談センターにご相談ください。

排水管が熱で変形しないように、
タンク内のお湯を使いきり、
水になってから排水してください。



8 電源扉を開け、
漏電しゃ断器を「入」にする

9 台所リモコンで
水抜き動作を設定し、
約1分間待つ

10 電源扉を開け、
漏電しゃ断器を「切」にする

11 水抜きが終わったら、
排水栓と貯湯ユニットの
水抜き栓6ヵ所を閉める

12 貯湯ユニットの
ストレーナーをはずし、
水が出なくなったら、
ストレーナーを取り付け、
確実に締め付ける

13 逃し弁レバーを戻す
（逃し弁が閉じます。）

14 2・4・5・7で開けた、
貯湯ユニットの電源扉・
逃し弁扉・排水栓扉・点検扉を
閉めて確実にねじを締める

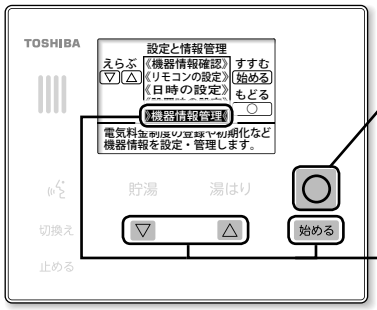
家族構成が変わったとき

家族構成が変わって、急にお湯の使用量が増える（湯切れになる）ときに学習データをリセットして再学習をさせます。

操作の流れ
○に3秒間タッチ → ▽△で【機器情報管理】を選択して始める にタッチ → ▽△で【学習の初期化】を選択して始める にタッチ → ▽△で【する】または【しない】を選択して始める に3秒間タッチ → 再学習

ワンポイント!
表示が消えているときは○にタッチ

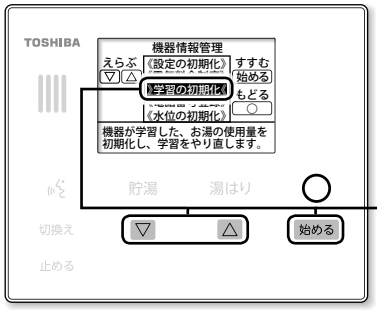
台所



1 ○ に3秒間タッチ

【設定と情報管理】画面が表示されます。

2 ▽ △ で【機器情報管理】を選択し、始める にタッチ



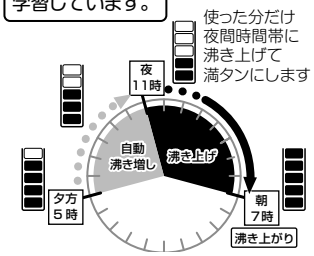
3 ▽ △ で【学習の初期化】を選択し、始める にタッチ

4 ▽ で【する】を選択し、始める に3秒間タッチ

再学習中（約1週間）

最初の1週間は、夜間時間帯に全量沸き上げます。

お湯の使いかたを学習しています。

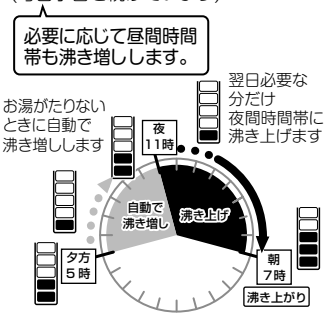


1週間後

通常時

夜間時間帯に沸き上げる温度と量をお湯の使いかたから決めています。
（毎日学習を続けています）

必要に応じて昼間時間帯も沸き増しします。



お知らせ

再学習期間中は…

- 再学習には1週間必要です。1週間は最適な湯量を学習するため、朝に全量になるように沸き上げます。
  学習すると使用状況に合ったお湯の量を沸き上げます。
- 再学習中は、昼間時間帯の自動沸き増し運転が通常時よりも増えます。

連続してお湯を使わないとき

通常時でも、1週間の間にお湯をまったく使用しない日が6日間あると自動的に再学習を行います。

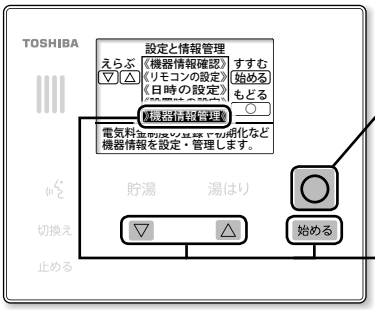
電力契約を変えたとき

電力契約を変えたときは、電力契約モードを再設定します。

操作の流れ
○ に3秒間タッチ → ▽△ で【機器情報管理】を選択して 始める にタッチ → ▽△ で【電気料金制度】を選択して 始める にタッチ → 電力契約を変更

ワンポイント!
表示が消えているときは○にタッチ

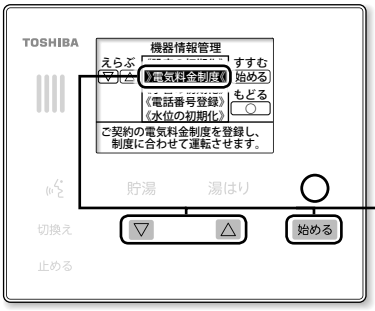
台所



1 ○ に3秒間タッチ

【設定と情報管理】画面が表示されます。

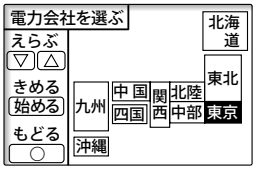
2 ▽ △ で【機器情報管理】を選択し、始める にタッチ



3 ▽ △ で【電気料金制度】を選択し、始める にタッチ

以下の3,4項目を順番に設定します。

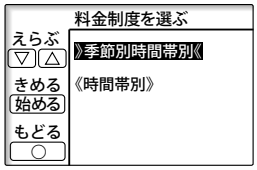
1. 電力会社を選ぶ



※本製品は設定不要です。

そのまま 始める にタッチしてください。

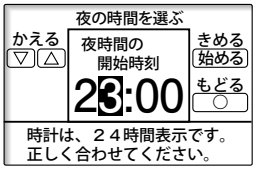
2. 料金制度を選ぶ



※本製品は設定不要です。

そのまま 始める にタッチしてください。

3. 夜の時間（開始時刻）を選ぶ



4. 夜の時間（終了時刻）を選ぶ

夜時間の開始と終了の時刻を指定します。

設定された時間内で夜間の沸き上げ運転を行います。
開始と終了の時刻が正しく設定されていないと電気料金が高くなることがあります。
必ず正しく設定されていることを確認してください。

※設定については、管理組合またはオーナー様にお問い合わせください。

▽△ で項目または数値を指定し、始める にタッチして決定します。

1つ前の画面に戻るには…
○ にタッチ

通常画面に戻るには…
○ に3秒間タッチ

給湯や湯はりを制限したいとき

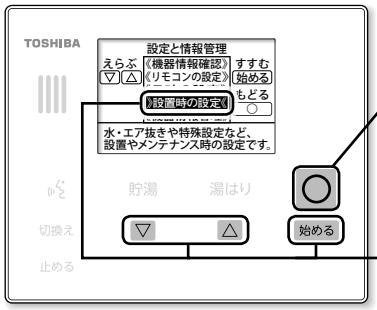
浴室　台所

湯はりや給湯温度の変更を制限したいときに設定します。

操作の流れ
◯ に3秒間タッチ → ▽△ で【設置時の設定】を選択して 始める にタッチ → ▽△ で項目を選択して 始める にタッチ → 湯はりの禁止 / 給湯温度制限

ワンポイント!
表示が消えているときは◯にタッチ

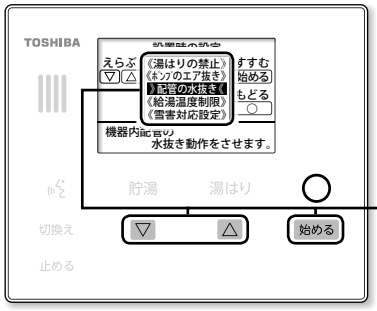
台所



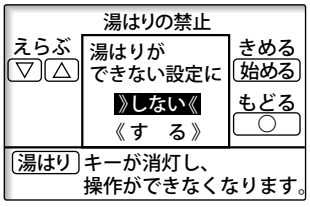
1 ◯ に3秒間タッチ

【設定と情報管理】画面が表示されます。

2 ▽△ で【設置時の設定】を選択し、始める にタッチ



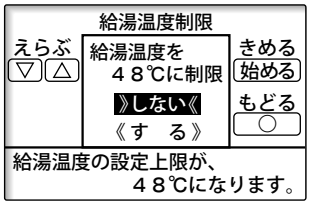
3 ▽△ で下記のいずれかを選択し、始める にタッチ



湯はりの禁止

湯はりを制限します。

湯はり キーが消灯したままになり、操作できなくなります。



給湯温度制限

給湯温度の上限を48℃に制限します。

お子様やお年寄りの安全を配慮した設定です。

▽△ で【しない】または【する】のいずれかを指定し、始める にタッチして決定します。

手順3の画面に戻るには…
◯ にタッチ

通常画面に戻るには…
◯ を3秒間タッチ

※製品自身で設定されている場合、この項目は表示されません。

製品仕様

■システム・ユニット形名対照表

●耐塩害仕様は各形名の末尾に「-Z」、耐重塩害仕様は各形名の末尾に「-GZ」が付きます。
貯湯ユニット・ヒートポンプユニットの質量は下表と同じです。

	一般地向け
	フルオート
システム形名	HWH-B374J
貯湯ユニット形名	HWH-B374JT
ヒートポンプユニット形名	HWH-454U

■仕様表

システム形名	一般地向け
貯湯ユニット＋ヒートポンプユニット	HWH-B374J
適用電力制度	高圧一括受電
電源定格	単相200V（50/60Hz共用）
最大電流	17A
沸き上げ温度範囲	約65℃～約90℃（水温・外気温により可変）
年間給湯保温効率(JIS) ※1 ※2	3.3
区分名	17
仕向地	H25年次世代省エネ基準4・5・6・7・8地域 ● H25年次世代省エネ基準1・2・3地域での据え付けは出来ません。 最低外気温がマイナス10℃を下回る地域では機器が故障するおそれがありますので据え付けないでください。 ● お湯の使用状態や外気温、自動保温運転などによって沸き上げ温度は変化します。
用途	セントラル給湯・ふろ全自動
	2～5人家族用

貯湯ユニット形名			HWH-B374JT
貯湯ユニット	タンク容量		370L
	設置条件		屋内/屋外設置 ※11
	設置可能最低外気温度		−10℃
	外形寸法	幅	630mm
		奥行	730mm
		高さ	1760mm
	質量（満水時）		約56（426）kg
	消費電力	風呂用ポンプ	65W
		追いだき用ポンプ	40W
		沸き上げ用ポンプ	40W
		凍結防止ヒーター	20W
		制御用消費電力	15W（待機時：5W ※9）
	水側最高使用圧力		190kPa（減圧弁設定圧力：170kPa）
	配管口径		給水・給湯：R3/4　浴室・ヒートポンプ接続：R1/2
		排水口	排水：R1/2
	給湯温度設定		27℃～48℃（1℃刻み）、50℃、55℃、60℃
	浴槽の目安		120L～450L
	ふろ給湯機能		自動湯はり・自動保温・自動たし湯・追いだき・高温たし湯・たし湯・さし水・洗浄

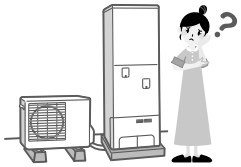
ヒートポンプユニット形名			HWH-454U
ヒートポンプユニット	外形寸法	幅	820mm
		奥行	320mm
		高さ	712mm
	質量		約53kg
	中間期標準加熱能力 ※4 ※5		4.5kW
	中間期標準消費電力 ※5		0.96kW
	中間期標準運転電流 ※5		6.3A
	夏期加熱能力/消費電力 ※4 ※6		4.5kW/0.88kW
	冬期高温加熱能力 ※3 ※4 ※7		4.5kW
	冬期高温消費電力 ※7		1.50kW
	運転音(中間期 ※5 /冬期 ※7)※8		38/44dB
	冷媒名/封入量		CO_2 (R744)/0.80kg
	設計圧力		高圧：14.5MPa／低圧：8.5MPa
	設置可能最低外気温度 ※10		−10℃

※1 年間給湯保温効率（JIS）は日本工業規格「JIS C9220：2011」に基づき、消費者の使用実態を考慮に入れた給湯保温効率を示すために、一年を通して、ある一定の条件※のもとにヒートポンプ給湯機を運転した時の単位消費電力量あたりの給湯熱量と風呂保温熱量を表したものです。実際には地域条件・運転モードの設定やご使用条件等によって変わります。
※一定の条件とは、東京・大阪を平均した気象条件・給水温度で40℃のお湯を456L使用し、ふろの保温時間を3時間（保温熱量4.12MJ）行う条件等を想定したものです。
※年間給湯保温効率算出時の条件
着霜期高温条件
：外気温（乾球温度/湿球温度）2℃/1℃、水温5℃、沸き上げ温度90℃
給湯保温モード条件（冬期）
：外気温（乾球温度/湿球温度）7℃/6℃、水温9℃、沸き上げ温度65℃
給湯保温モード条件（着霜期）
：外気温（乾球温度/湿球温度）2℃/1℃、水温5℃、
沸き上げ温度65℃
夜間消費電力量比率：80%

※2 沸き上げモード：「おまかせ」設定（光タッチリモコン接続時）、「おすすめ」設定（ボタンリモコン接続時）
※3 低外気温時は除霜のため、加熱能力が低下することがあります。
※4 沸き上げ終了直前では加熱能力が低下する場合があります。
※5 作動条件：外気温（乾球温度/ 湿球温度）16℃/12℃、水温17℃、沸き上げ温度65℃
※6 作動条件：外気温（乾球温度/ 湿球温度）25℃/21℃、水温24℃、沸き上げ温度65℃
※7 作動条件：外気温（乾球温度/ 湿球温度）7℃/6℃、水温9℃、沸き上げ温度90℃
※8 運転音は、JIS C9220：2011 に準拠し、反響音の少ない無響室で測定した数値です。実際に据え付けた状態で測定すると、周囲の騒音や反響を受け、表示数値より大きくなるのが普通です。
※9 中間期条件で、沸き上げ、給湯などの動作がなく、リモコンは消灯（待機）した状態の時に測定した数値です。台所リモコンと浴室リモコンを2個接続した状態で測定しています。
※10 運転使用範囲は−10℃～43℃です。外気温が−5℃以下の場合の最高沸き上げ温度は約80℃～85℃となります。
※11 給水遮断弁と漏水センサを内蔵し、万一の水漏れの時に給水をストップします。
※ 仕様は改善のため変更することがあります。

よくあるお問い合わせ

	このようなときには	これを確認してください
給湯の具合	お湯が出ない	●給水止水栓が開いていることを確認してください ▶ 開けかたは、『貯湯ユニットの水の貯めかた』を参照してください。➡ 本書26 ページ
		●断水していませんか?（他の水栓から水は出ますか?） ▶ 断水の場合、『断水や水道工事のとき』にしたがって操作後、断水が終了するまでお待ちください。 ➡ 本書33 ページ
		●配管が凍結していませんか? ▶ 凍結が解消するまでお待ちください。➡ 本書30 ページ
		●停電していませんか? ▶ マンションなどの貯水槽の水を利用している場合は停電が復旧するまでお待ちください。
	お湯の出が悪い	●ガス（石油）給湯機に比べると、若干ですが、お湯の出が悪くなります。 （タンクに水を貯めるため、水圧を落とす調整をしています） ●混合水栓のタイプによっては、水栓を全開にしてもお湯の出が悪くなる場合があります。 ▶ リモコンの給湯温度を60℃に設定し、混合水栓で水を多く混ぜてご使用ください。 ➡ 『使いかたガイド』8〜9 ページ
		●自動保温、たし湯中や他で使用している場合は、混合水栓やシャワーから出る湯量が少なくなる場合があります。
		●貯湯ユニットのストレーナー（フィルター）にゴミが詰まっていませんか? （掃除をしていますか?） ▶ 『給水口ストレーナーの掃除』の手順にしたがって、掃除を行ってください。➡ 本書28 ページ
		●給水止水栓が全開になっていることを確認してください。 ▶ 開けかたは、『貯湯ユニットの水の貯めかた』を参照してください。➡ 本書26 ページ
		●給水圧が低くなっていませんか?（200kPa以下） ▶ お近くの水道局にお問い合わせください。
	お湯がぬるい （設定温度にならない） 混合水栓やシャワーの温度が低い、水が出る	●リモコンの給湯温度表示は目安です。 ・配管の放熱によって、設定温度より低くなる場合があります。 ・タンク内の湯温が低い場合は、設定温度にならないことがあります。
		●残湯量目盛りが点灯していますか? ▶ お湯がない場合は水が出ます。お湯が沸くまでお待ちください。 ➡ 『使いかたガイド』10ページ
		●お湯の出始めは、配管に残っている水が出ます。 ▶ お湯が出るまで、少しお待ちください。
		●サーモスタット式混合水栓をご使用で、混合水栓の設定温度まで上がらない場合は、リモコンの給湯温度設定を混合水栓の温度より10℃以上高めに設定してください。 それでも上がらないときは、混合水栓メーカーにご相談ください。 ●1ヵ所のみ湯温が低い場合は、混合水栓の故障の可能性があります。 販売店にご相談ください。
	湯温が変動する （給湯中に、急に熱くなったり、ぬるく（水に）なったりする） 出湯量が変動する	●次の場合が考えられますが、異常ではありません。 ・給湯中に、「湯はり」・「湯かげん」を操作したり止めたりしたとき ・給湯中に、他の混合水栓やシャワーでお湯を出したり止めたりしたとき ・給湯中に、出湯量を調節したとき ・給湯を止めて、しばらくして再給湯したとき ・出湯量が極端に少ないとき ・水道の圧力が変動しているとき



このようなときには	これを確認してください
沸き上げ	
お湯が沸かない	●貯湯ユニットの漏電しゃ断器が、「切」になっていませんか? （台所リモコンの画面表示がすべて消えていませんか?） ▶『貯湯ユニットへの水の貯めかた』を参照し、漏電しゃ断器を「入」にしてください。 ➡ 本書 26〜27 ページ 「入」にして、度々「切」になるようでしたら、販売店または工事店にご相談ください。
	●リモコンの時計が正しく設定されていますか? ・時計が合っていない場合（--:--表示の場合） ▶『日付、時刻を合わせる』の手順で合わせてください。➡ 『使いかたガイド』18ページ
	●「貯めない設定」をしていませんか? ▶『貯めない設定』の手順にしたがって、解除してください。➡ 本書 17 ページ
お湯がたりない（『おまかせ』設定のとき）	●いつもに比べてお湯の使用量が多くなかったですか? ▶「おまかせ」設定で1週間以上、お湯のたりない日が続くようでしたら、「おおめ」設定でお使いください。➡ 本書 14 ページ
	●前日の残り湯を追いだき（沸かしなおし）しませんでしたか? ▶「おおめ」設定でお使いください。➡ 本書 14 ページ
お湯がたりない 湯切れする	●夜間時間帯にお湯を多く使ったり、お風呂に湯はりをしましたか? ▶夜間に沸かしたお湯を使用したために残湯量が減っています。 夜間のお湯の使用を控えていただくか、沸き増しを設定してください。
	●いつもに比べてお湯の使用量が多くなかったですか? ▶この製品は貯湯式ですので、一度に使える湯量に限度があります。 いつもより多く使う場合は、「手動沸き増し」を設定してください。 ➡ 『使いかたガイド』12〜13 ページ
	●自動沸き増し禁止を設定していませんか? ▶「自動沸き増し」を禁止している場合はお湯がたりなくなる場合があります。 ➡ 本書 16 ページ
	●手動で沸き上げしていますか? ▶「60分間」、「湯はり量」設定は、沸き増しが完了すると、設定が自動で解除されます。 必要に応じて設定してください。➡ 『使いかたガイド』12ページ ▶「満タンに」設定は、夜間時間帯までは何度でも沸き増ししますが、夜間時間帯になると設定が自動で解除されます。必要に応じて設定してください。➡ 『使いかたガイド』12ページ
	●沸き上げていないときに、排水口からお湯が出ていませんか? ▶『逃し弁の動作確認』の手順にしたがって、逃し弁の動作を確認してください。 ➡ 本書 29 ページ ※沸き上げている最中に膨張水が出るのは正常です。
昼間時間帯に 沸き上げをする	●昼間時間帯（朝〜夜）はお湯がたりないときだけ自動で沸き増し（沸き上げ）します。 ▶昼間時間帯（朝〜夜）の自動沸き増し運転を止めることもできます。➡ 本書 16 ページ
	●ヒートポンプユニットの凍結防止のために、外気温が低い場合は、沸き増しを行う場合があります。 ➡ 本書 31 ページ
沸き上げを 止めたい	●「貯めない設定」で「無期限で」に設定してください。➡ 本書 17 ページ
夜になっても 沸き上げをしない	●夜間時間の終了時刻を目標に、沸き上げが終わるよう、水温・外気温・残湯量によって、沸き上げ開始時間を調整しています。 ▶沸き上げをしたい場合は、沸き増しの「60分間」を設定してください。 ➡ 『使いかたガイド』12ページ

よくあるお問い合わせ

	このようなときには	これを確認してください
沸き上げ	夜間時間帯の終了時刻よりも早く止まる	●外気温や残湯量や残湯温度によって、沸き上げの完了時刻は前後する場合があります。
	停電復旧後や修理後に湯量が変わった	●沸き上げ設定が変わっていないか確認してください。 ●停電後や修理時には学習内容が初期化される場合があります。 学習期間は1週間ですので、そのままお使いください。
	朝に満タンになっていない	●お客様のお湯の使用量を学習して沸き上げ量を決めています。 ▶ 明日に備えて全量を沸かす設定もできますが、一晩だけの設定です。 ➡ 『使いかたガイド』16ページ
	満タンに沸き上げる湯量が突然変わった	●学習期間（最初の1週間）は最適な湯量を学習するため、 朝にタンクが全量になるように沸き上げをします。 ●1週間の間にお湯をまったく使用しない日が6日間あると、自動的に再学習期間（1週間）になり、 朝にタンクが全量になるように沸き上げをします。➡ 本書 38 ページ
	手動沸き増しを設定しても沸き上げをしない	●ヒートポンプユニット運転停止直後に、手動沸き増しを設定しませんでしたか? ▶ ヒートポンプユニットが運転を停止してから15分間は機器保護のため運転を待機します。
お風呂（湯はり）	「湯はり」キーが操作できない	●残湯量表示は点灯していますか? ▶ 残湯量表示がない場合は、「湯はり」キーは消灯したままとなり操作できません。 お湯が十分に沸くまでお待ちください。➡ 『使いかたガイド』5ページ
	湯はり時間が長い	●設置後、1回目の湯はりは、浴槽の大きさ・水位を学習するため、 湯はりとポンプ循環を繰り返し、時間がかかります。
		●給水止水栓が全開になっていることを確認してください。 ▶ 開け方は、『貯湯ユニットの水の貯めかた』を参照してください。➡ 本書 26 ページ
		●湯はり中に、混合水栓やシャワーでお湯を使うと湯はり時間が長くなります。 ●浴槽に残り湯があるときは、湯はり時間が長くなります。 残り湯を排水してから湯はりすることをおすすめします。
	湯はりが途中で止まる（「湯はり」が解除）	●残湯量表示は点灯していますか? ▶ 湯はり中に残湯量表示が消灯し、お知らせコード「U:22」が表示されると、「湯はり」運転が解除されます。お湯が十分に沸くまで待ってから、湯はりをやり直してください。 ➡ 本書49ページ
	お知らせコード『U:23』が表示される	●浴槽の残り湯を再利用した湯はり（節水湯はり）が3回以上続きました。 ▶ 残り湯をすべて排水してから、湯はりをやり直してください。
	浴槽の湯温が低い	●湯はり温度は目安です。 浴槽や配管ならびに季節により変わりますので、状況にあわせて湯はり温度を設定してください。
		●残湯量表示は点灯していますか? ▶ 自動保温、たし湯はタンク内のお湯の熱を使って行います。お湯が沸くまでお待ちください。
		●浴槽循環金具のフィルターが汚れていませんか?（清掃はしていますか?） ▶『浴槽循環金具の掃除』の手順で掃除をしてください。➡ 本書 25 ページ
	浴槽の水位が安定しない（あふれる、湯量が少ない）	●浴槽循環金具より下に残り湯がある状態で、湯はりをしませんでしたか? ▶ 浴槽の残り湯を排水してから湯はりをしてください。 ●湯はり中に混合水栓やシャワーからお湯をたしませんでしたか? ●湯はり中に入浴しませんでしたか?
		●水位が下がっても、すぐに設定水位まで戻らない（自動たし湯しない）場合があります。 ▶ すぐに水位を増やしたいときは、「たし湯」をしてください。 ➡ 『使いかたガイド』6ページ ●自動湯かげんのモードを「自動で保温」「自動でしない」に設定していませんか? ▶「保温とたし湯」に設定してください。➡ 本書 19 ページ

	このようなときには	これを確認してください
お風呂（湯はり）	浴槽の水位が安定しない（あふれる、湯量が少ない）	●浴槽循環金具のフィルターが汚れていませんか?（清掃はしていますか?） ▶『浴槽循環金具の掃除』の手順で掃除をしてください。➡ 本書 25 ページ ●湯はりの水位が安定しなかったり、浴槽からお湯があふれるなどの異常が続く場合は、「水位の初期化」を行ってください。➡ 本書 23 ページ ●ジャグジー・ジェットバスは使用しないでください。正常な湯はりができません。
	「湯かげん」キーが操作できない	●残湯量表示は点灯していますか? ▶残湯量表示がない場合は、「湯かげん」キーは消灯したままとなり操作できません。お湯が沸くまでお待ちください。 ➡『使いかたガイド』7ページ ●湯はり中は操作できません。
	追いだきできない 途中で止まる 追いだきに時間がかかる	●浴室リモコンの画面に「たし湯」表示がされていませんか? ▶ 湯かげん にタッチしてから ▽ △ で「追いだき」を選択します。画面に「追いだき」表示がされていることを確認して 始める にタッチしてください。 ➡『使いかたガイド』6ページ ●残湯量表示があってもタンク内の湯温が低い場合は時間がかかります。また、追いだきできない場合があります。 ▶「60分間」沸き増しを設定してください。 ➡『使いかたガイド』12ページ また、追いだきを多く使う場合は、沸き上げ設定を「おおめ」に設定することをおすすめします。 ➡ 本書14 ページ ●前日の冷めた残り湯を追いだきすると時間がかかったり、タンク内の湯温が下がり湯切れの原因になり、追いだきができない場合があります。浴槽の残り湯を排水してから湯はりすることをおすすめします。 ●残湯量表示は点灯していますか? ▶タンクの残湯が無いと追いだきできません。 ▶追いだき中に、残湯量表示が消灯すると追いだき運転が解除されます。お湯が沸くまでお待ちください。 ➡『使いかたガイド』7ページ ●浴槽循環金具のフィルターが汚れていませんか?（清掃はしていますか?） ▶『浴槽循環金具の掃除』の手順で掃除をしてください。 ➡ 本書 25 ページ
	高温たし湯ができない 熱いお湯が出ない	●浴槽循環金具の5cm以上うえにお湯がないと高温たし湯を行いません。 ▶高温たし湯開始時に、安全確認のため風呂ポンプを動作して浴槽循環金具の上にお湯があるか確認をします。 ●残湯量が少ない場合や、残湯量表示があってもタンク内の湯温が低い場合は熱いお湯が出なかったり、お好みの温度になるまで時間がかかります。 ▶「60分間」沸き増しを設定してください。 ➡『使いかたガイド』12ページ また、高温たし湯を多く使う場合は、沸き上げ設定を「おおめ」に設定することをおすすめします。 ➡ 本書 14 ページ
	浴槽循環金具から水が出る	●保温、追いだきやたし湯の開始時には、配管内の冷めたお湯が出ることがあります。 ●気温が低いと、凍結防止運転のため風呂ポンプが動作し水が出る場合があります。
	「湯はり」「追いだき」をすると残湯量目盛りが一度に複数消灯する	●保温や追いだきはタンク内の熱を使って温度を上げているため、タンク内の湯温が下がり残湯量目盛りが減ることがあります。 ●タンクの残湯量目盛りは45℃以上のお湯を表しています。保温や追いだき運転により、タンク内の湯温が45℃付近まで下がると残湯量目盛りが一度に複数消えます。異常ではありません。
	浴槽やタイルが青くなる	●水に含まれる銅イオンが、石けんなどの脂肪酸と反応し青くなることがあります。人体には無害です。汚れを放置すると取れにくくなりますので、市販の浴室用（油汚れ）洗剤で掃除をしてください。 ➡ 本書 24 ページ
	お湯に油が浮く お湯が臭い	●初めてお使いの場合は、配管工事の際の油やにおいがお湯に付く場合があります。しばらくすると消えます。
	浴槽のお湯が青く見える	●光の波長や浴槽の色などによって浴槽のお湯が青く見えることがあります。

よくあるお問い合わせ

	このようなときには	これを確認してください
お風呂（自動湯かげん）	「自動でしない」を設定したとき	●浴槽をからにして湯はりを行ってください。 浴槽に残り湯があると、お湯の温度が低くなったり、お湯があふれたりすることがあります。 ●残り湯が浴槽循環金具の上にあるときは、湯はりだけをすることができます。
	自動湯かげんの設定を変更したい	●お好みに合わせて設定できます。➡ 本書 19 ページ ●自動で保温・たし湯での運転時間は、お買い上げ時の設定で「2時間」です。
	残湯量目盛りが減ってしまう	●ふろ保温運転（自動で保温・たし湯）は、タンク内のお湯の熱を使って行うため タンクの湯温が下がり、残湯量目盛りが減ることがあります。
	自動湯かげんが停止してしまう	●5分以上の停電があると運転を停止します。
お風呂（入浴時）	機器の腐食や故障を防ぐために	●浴槽内で石けんを使わないでください。 ●次の入浴剤は使わないでください。 ・硫黄、酸、アルカリ、塩分、ミルクやミルク成分を含んだもの ・浴槽に沈殿物（にごり成分）が残るもの ・生薬（固形のもの） ・発泡系のもの ※入浴剤の注意書きをよく読んで、影響のないことを確認してください。
お風呂	「配管自動洗浄」を設定したとき	●洗浄に使用するお湯は約5リットルです。

	このようなときには	これを確認してください
リモコン	リモコンの表示が消えている	●配線用しゃ断器および貯湯ユニットの漏電しゃ断器は「入」になっていますか? ▶配線用しゃ断器（ブレーカー）を「入」にしてください。 漏電しゃ断器を「入」にしてください。➡ 本書 26 ページ
		●節電のため、操作後一定時間たつと、リモコンの画面（台所リモコンはバックライト）、キー操作部の表示が消灯します。 ○ にタッチすると再表示されます。表示の点灯時間は変更可能です。➡ 本書 20～21 ページ
	表示が勝手に点灯する 表示が消えない	●お湯を使用すると、キー・表示ともに点灯します。（台所リモコンは点灯しません） また、50℃以上の給湯温度設定をすると、安全配慮のため表示は消えません。
	○ が消えない	●表示を残す／残さないの設定ができます。 表示を消したいときは、設定を変更してください。➡ 本書 20～21 ページ
	設定中、画面表示がすぐに戻ってしまう	●表示の切り替え時間1分です。 1分以内に操作を終わらせてください。
	リモコンのキーがすべて点灯しない	●操作できるキーだけを点灯しているため、全部点灯していなくても異常ではありません。
	設定した内容が反映されていない	●設定変更では、始める にタッチして確定してください。
	リモコンが操作できない	●操作のロックを設定していませんか? ▶『各部の名前とはたらき』を参照し、解除してください。➡ 本書 10 ページ、12 ページ
	反応が悪い・過敏	●指の腹でキーの中央にタッチしてください。 ●タッチキー操作感度の設定ができます。 感度を調整したいときは、設定を変更してください。➡ 本書 20～21 ページ ●指定のアース工事が確実に行われていることを確認してください。
	給湯温度の変更ができない	●リモコンの「優先」表示は消えていますか? ▶「優先」表示のあるリモコンでは変更できません。「優先」の切り替えをしてください。 ➡『使いかたガイド』8～9 ページ ●操作のロックを設定していませんか? ▶『各部の名前とはたらき』を参照し、解除してください。➡ 本書 10 ページ、12 ページ
	台所リモコンの表示が一瞬消える	●定期的に表示の更新を行います。 一瞬表示が消えたように見えることがありますが、故障ではありません。
	ガイダンスをしない聞こえない	●ガイダンスの制限をしていませんか?ガイダンスの音量が「最小」になっていませんか? ▶ガイダンスの制限設定、ガイダンスの音量設定を変更してください。 ➡ 本書 20～21 ページ
	おはなし通話中に「ぶっ」と音がする	●「おはなし」中も、リモコンは本体と通信を行うために音がする場合がありますが異常ではありません。
	おはなし通話中に聞き取りにくい	●声の音質によっては聞き取りにくい場合があります。マイクに近づいて話してください。 ●周りの音が大きい場所では、声が聞き取りにくくなる場合があります。 シャワーを止める、テレビの音量を下げるなど周りの音を小さくしてください。
	おはなし通話中にラジオ放送が聞こえる	●近隣（数km以内）にラジオ放送局もしくは電波塔がある場合、ラジオ放送が入る場合がありますが、異常ではありません。
	お湯の使用量表示が実際と合わない	●表示されるお湯の使用量は、給湯、湯はり、保温、追いだきなどで使用したすべての熱量を42℃に換算して表示をしています。実際に混合水栓から使用した湯量とは異なります

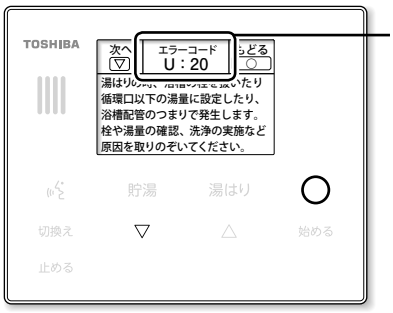
よくあるお問い合わせ

	このようなときには	これを確認してください
残湯量表示	残湯量表示が 一度に複数消灯する	●保温や追いだきは、タンク内の熱を使って温度を上げているため、 タンク内の湯温が下がり残湯量目盛りが減ることがあります。 ●タンクに貯められたお湯は放熱によって徐々に温度が下がるため、 お湯を使わなくても残湯量が減ることがあります。 ●タンクの残湯量目盛りは45℃以上のお湯を表しています。保温や追いだき運転により、 タンク内の湯温が45℃付近まで下がると残湯量目盛りが一度に複数消えます。異常ではありません。
	朝になっても すべて点灯しない	●お客様のお湯の使用量を学習して沸き上げ量を決めています。 全部点灯していなくても異常ではありません。
	残湯量表示が多くあるのに昼間に沸き増しをする	●お風呂の湯はりを考慮して、沸き増しを行う場合があります。 また、湯はり運転中は、保温のため沸き増しをする場合があります。 ▶昼間時間帯（朝～夜）の自動沸き増し運転を止めることもできます。 ➡ 本書 16 ページ
ヒートポンプユニット	ヒートポンプユニットが 運転/停止を繰り返す	●外気温が低いときは、凍結防止のために、運転/停止を繰り返すことがあります。 異常ではありません。
	昼間時間帯に 運転している	●昼間時間帯（朝～夜）はお湯がたりないときだけ自動で沸き増し（沸き上げ）します。 ▶昼間時間帯（朝～夜）の自動沸き増し運転を止めることもできます。 ➡ 本書 16 ページ ●ヒートポンプユニットの凍結防止のために、外気温が低い場合は、沸き増しを行う場合があります。 ➡ 本書 16 ページ
	下部から水が出ている 地面がぬれている	●沸き上げ中は、空気中の水分が結露し、下部中央水抜き穴より少しずつ排出されます。 寒い時期は除霜水も出ます。異常ではありません。凍結などにご注意ください。
	背面が霜で白くなる	●気温が低いと、霜がつく場合があります。異常ではありません。
	運転音が大きい	●沸き上げ中や凍結防止運転中は音がします。 ●外気温が低いと、運転音が大きくなる場合があります。
貯湯ユニット	貯湯ユニットの排水口 からお湯が出る	●沸き上げ（沸き増し）中は、タンク内の水が膨張して排水口から膨張水が排出されます。 異常ではありません。
	貯湯ユニットから 音がする	●湯はり運転中や凍結防止運転でポンプが動作し音がします。異常ではありません。
	お湯を止めると 「ゴン」と音がする	●水圧が高い地域で混合水栓のシングルレバータイプを使用すると起こりやすい現象です。 ▶水撃防止器を取り付けることで改善できます。お買い上げの販売店にご相談ください。
	水を貯めるときに 音がする	●タンク内の空気の排出音がしますが、故障ではありません。 ▶満水になると音はしなくなります。

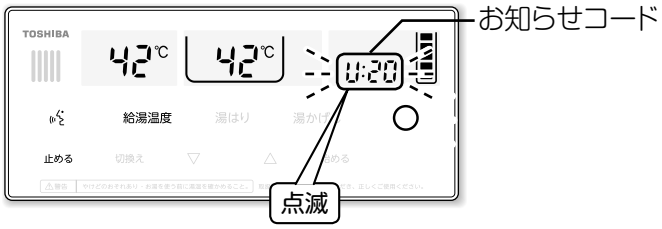
お知らせコードが表示されたとき

リモコンにお知らせコード（U:○○）が表示された場合は、**台所リモコンに表示される指示にしたがって操作・解除を行ってください。**

台 所



浴 室



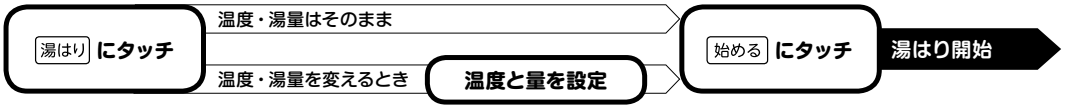
表示コード	予想される原因と対処方法
U:20	お風呂の循環が正常にできなかったときのお知らせです。下記のことを確認してください。 ●**浴槽の栓が抜けたまま湯はりをしませんでしたか?** ▶ 浴槽の栓を確認し、湯はりをやり直してください。 ●**湯はりする湯量が浴槽循環金具より低い位置に設定していませんか?** ▶ 湯量の設定を増やして、湯はりをやり直してください。 ●**浴槽循環金具のフィルター清掃はしてますか?** ▶ フィルター清掃を1週間に1回を目安に行ってください。
U:22	湯はりや自動保温中にお湯が無くなったときのお知らせです。下記のことを確認してください。 ●**残湯量目盛りが少ない状態で湯はりをしませんでしたか?** ▶『湯はり1回分』のお湯の補充（沸き増し）をしてから湯はりをやり直してください。 ●**お湯を多く使いませんでしたか? 自動保温運転中にお湯が無くなるとお知らせします** ▶ 必要な分のお湯の補充（沸き増し）を行ってください。
U:23	浴槽の残り湯を利用した湯はり（節水湯はり）を3回以上続けたときのお知らせです。 ▶ 複数回の節水湯はりはおすすめできません。残り湯をすべて排水してから湯はりをやり直してください。
U:25	お風呂の水位が、浴槽循環金具より下がったときのお知らせです。 【自動保温中（自動湯かげん中）に浴槽の栓を抜いたり（抜けかかったり）しませんでしたか?】 ▶ お知らせコードを解除して、お使いいただけます。
U:27	湯はり中にタンクへの給水ができなかったときのお知らせです。 【給水止水栓が閉まっている、配管の凍結、断水などが考えられます】 ▶ 原因を取り除いてください。

※上表に記載された原因を取り除いてもひんぱんに発生する場合は故障のおそれがあります。
　お買い上げの販売店または工事店にご相談ください。
※お知らせコード以外（E:○○、H:○○、HU:○○）が表示された場合は、故障の場合があります。
　台所リモコンに表示される手順にしたがって対処してください。

使いかたガイドのまとめ（操作の流れ）

湯はりのしかた

台所リモコン　浴室リモコン

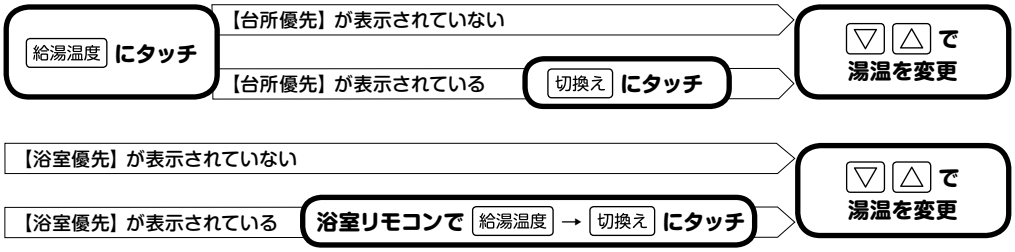


湯かげんのしかた

浴室リモコン

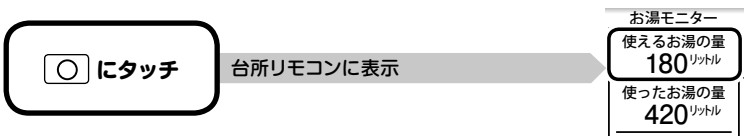
混合水栓やシャワーの温度のかえかた

浴室リモコン

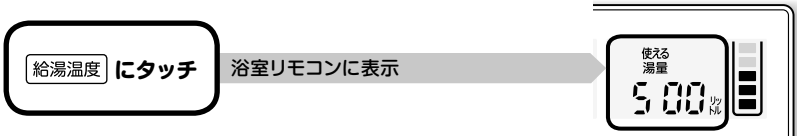


使えるお湯の量をチェックするとき

台所リモコン



浴室リモコン



お湯がたりないとき

台所リモコン

貯湯 にタッチ → ▽△で項目を選択 → タンク満タン：満タン／湯はり1回分：湯はり量／60分間増やす：60分 → 始める にタッチ → お湯を増やす

浴室リモコン

○ にタッチ → ▽△で【補充】を選択 → 始める にタッチ → お湯を増やす

日付・時刻の合わせかた

台所リモコン

○3秒間タッチ → ▽△で【日時の設定】を選択して、始める にタッチ → 切換え/▽△で日時を設定 → 始める にタッチ

初期表示 → 始める にタッチ → 切換え/▽△で日時を設定 → 始める にタッチ

お知らせコードが表示されたとき

台所リモコン

止める にタッチ → 台所リモコンを確認 → 対処方法を確認し、操作・解除

浴室リモコン

止める にタッチ → 台所リモコンを確認 → 対処方法を確認し、操作・解除

浴槽配管の自動洗浄のしかた

台所リモコン

湯はり 3秒間タッチ → ▽△で【配管自動洗浄】を選択して、始める にタッチ → ▽△で【する】を選択 → 始める にタッチ → 自動運転終了または、解除してから3時間後に自動洗浄開始

リモコン同士での会話のしかた

台所リモコン　浴室リモコン

話し出すとき、 にタッチ → 点灯中：話し手、 点滅中：聞き手

MEMO

MEMO

5年保証に関する免責事項（重要なお知らせ）

- ご使用の前に「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- 少しでも長くお使いいただくために、取扱説明書の内容にしたがって定期的にお手入れと日常点検を行ってください。
- 下記内容および取扱説明書・工事説明書の内容を守らなかったために発生した不具合については保証期間内であっても、無償保証の対象外となります。

- 消耗部品（減圧弁、逃し弁、ミキシングバルブ、電磁弁（簡易ホッパー）、ポンプ、二方弁、三方弁、水位センサー）の交換。
  ※消耗部品の保証期間は2年間です。
- 誤ったご使用や不当な修理・改造で生じた故障および損傷。
- 火災、天災地変（地震、風水害、落雷など）、海岸付近（塩害地向け製品を除く）、温泉地などの地域における塩害、腐食性の有毒ガス、浄化槽からの臭気などの空気環境に起因する不具合や異常電圧で生じた故障および損傷。
- お買い上げ後の落下や取付場所の移動、輸送などで生じた故障および損傷。
- 保証書のご提示がない場合。
- 保証書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店（工事店）名の記入のない場合、あるいは字句が書き換えられた場合。
- 保証書の製造番号と本体の製造番号が一致しない場合。
- 施工上の誤り、据付不良による故障および損傷。
- タンクに供給する水が以下の場合。
  - 水道法に定められた飲料水の水質基準に適合しない水を使用した場合。
    ※水質基準内であっても塩素濃度・石灰分・その他不純物の含有、また酸性水質の場合にはタンク・部品などの劣化を早め故障・水漏れの原因となる場合があります。
  - 温泉水・地下水・井戸水や塩分、石灰分、その他不純物が多く含まれていた場合や、酸性水質の場合。
  - マンションなどの貯水槽において、特に高濃度の塩素が含まれた水を製品に供給した場合。（タンク・部品の劣化を早め、故障・水漏れの原因となる場合があります。規定内の塩素濃度で管理された水をご使用ください。）
  - 電気・給水の供給トラブル・凍結などによる故障および損傷。
- 一般家庭用以外（例えば、業務用に使用、車両、船舶などへ備品として搭載、食品保存や機器の冷却などに使用された場合の故障および損傷。
- 浴室など湿気の多い場所や他の機器の影響（振動など）による故障および損傷。
- 降雪地で小屋がけしないで屋外に設置し、雪による故障および損傷。
- ねずみ・カエル・ヤモリなどの動物の行為に起因する不具合。
- 経年変化または通常の使用損傷により発生する不具合。（音、振動、錆、傷、塗装の脱色など機能に影響のない範囲内の感覚的な現象の場合。）
- 当社指定の別売部品を使用しなかったことが原因で不良となった場合。
- 防水処理・排水処理されていない床面に設置された場合の水漏れによる二次被害。
- 台所リモコンに水をかけた場合。（台所リモコンは防水タイプではありません。水をかけると故障の原因になります。また浴室リモコンは防水タイプですが、故意に水をかけたりしないでください。）
- 機器の故障に起因した営業補償などの二次補償はいたしません。
- 決められた電源以外でご使用された場合、あるいは海外で使用した場合。（この製品は日本国内専用です。）

この製品は、日本国内用に設計されているため海外では使用できません。また、アフターサービスもできません。
This product is designed for use only in Japan and cannot be used in any other country.
No servicing is available outside of Japan.

保証とアフターサービス

必ずお読みください

修理・お取り扱い・お手入れについてご不明な点は

お買い上げの販売店または工事店へご相談ください。

販売店または工事店にご相談ができない場合は、下記の窓口へ

東芝電気給湯機ご相談センター

お電話・FAXをいただく際には、番号をお確かめのうえ
おかけ間違いのないようにお願いします。

フリーダイヤル **0120-1048-19**（トウシバ）

受付時間:365日 24時間電話でお応えします。

携帯電話・PHS など 03-5365-7420（通話料：有料）
FAX 0947-32-2892（通信料：有料）

・お客様からご提供いただいた個人情報は、修理やご相談への回答、カタログ発送などの情報提供に利用いたします。
・利用目的の範囲内で、当該製品に関連する東芝グループ会社や協力会社に、お客様の個人情報を提供する場合があります。

保証書（別添）

- この東芝ヒートポンプ給湯機には、保証書を別途添付しております。
- 保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店（工事店）名」などの記入をお確かめのうえ、販売店（工事店）から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。
- この東芝ヒートポンプ給湯機の保証期間は、お買い上げいただいた日から5年です。（ただし、消耗部品は2年間です）
- その他、詳しくは保証書をご覧ください。

補修用性能部品の保有期間

- ヒートポンプ給湯機の補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後10年間です。
- 補修用性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。

部品について

- 修理のために取りはずした部品は、特段のお申し出がない場合は当社で引き取らせていただきます。
- 修理の際、当社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。

修理を依頼されるときは　出張修理

ご使用中に異常が生じたときは、お使いになるのをやめ、漏電しゃ断器を「切」にし、給水止水栓を閉じてからお買い上げの販売店（工事店）にご相談ください。修理は専門の技術が必要です。

■保証期間中は

保証書の規定に従って、修理させていただきます。
なお、修理に際しましては、保証書をご提示ください。

■保証期間が過ぎている場合は

保証期間経過後の修理につきましては、お買い上げの販売店（工事店）にご相談ください。修理すれば使用できる場合にはご希望によって有料で修理させていただきます。

■修理料金のしくみ

修理料金は技術料・部品代・出張料などで構成されています。	
技術料	故障した商品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。
出張料	商品のある場所へ技術者を派遣する料金です。

■ご連絡いただきたい内容

品名	ヒートポンプ給湯機
システム形名	HWH-□□□□□□□
お買い上げ日	年　月　日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご住所	付近の目印なども併せてお知らせください
お名前	
電話番号	
訪問希望日	
便利メモ	お買い上げの販売店（工事店）名を記入されておくと便利です。 TEL.

★長年ご使用のヒートポンプ給湯機の点検を！

愛情点検

このような症状はありませんか。	● お湯の出が悪い。●お湯が早くなくなる。 ● 逃し弁の逃し管から昼間、常にお湯が流れている。 ● 設置場所が常にぬれている。 ● 時々、漏電しゃ断器が働く。 ● その他の異常、故障がある。	▶	ご使用中止	故障や事故防止のため、漏電しゃ断器を「切」にし、給水止水栓を閉じてから、必ずお買い上げの販売店（工事店）に点検修理（有料）をご相談ください。

東芝キヤリア株式会社

〒416-8521　静岡県富士市蓼原 336 番地
http://www.toshiba-carrier.co.jp/

EF99908201-③